

# Sport Fukushima

スポーツふくしま

46  
2023.3

公益財団法人福島県スポーツ協会  
Fukushima Sport Association

(公財)福島県スポーツ協会

〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階  
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971

福島民報社提供



みんなでスポーツを!  
Let's play sports together!







# 「オールふくしま」で 改革への挑戦

公益財団法人福島県スポーツ協会  
副会長 矢吹 貢一

皆様には、日頃より本県スポーツの推進に御理解と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

福島県議会は、昭和62年にふくしま国体を応援することを目的に、県議会議員が全員加入する「福島県スポーツ振興議員連盟」を設立しました。現在、私が代表世話人を務めさせていただいており、議員には（公財）福島県スポーツ協会加盟団体55競技のうち陸上競技・野球・ソフトテニスなど42競技について、議員1人あたり概ね4競技を担当し、福島県総合体育大会等の各種大会への激励など、本県のスポーツ振興を通して心身共に健康で明るく豊かな福島県を創造することを目的として活動しています。

さて、昨年4月から新たな「福島県総合計画」がスタートしました。計画期間は令和4年度から令和12年度までの9年間の福島県のあらゆる課題とそれを解決するための施策展開が数値目標を定め盛り込んだ最上位計画です。県民の皆さまが自分事として課題を認識し、県民ぐるみで考え方を共有して取り組むことが肝要です。

総合計画の部門別計画として、本県のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに「福島県スポーツ推進計画」も策定されました。4つの柱「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」「オリンピック・パラリンピックのレガシー」で構成し、「楽しむ」「競う」「ともに」「つなぐ」という視点でスポーツを捉え施策の推進を図っていくもので、地域の特性や現場のニーズに応じたスポーツ施策を主体的に実施することにより、健康増進、共生社会の実現、経済や地域の活性化などを図り、関係機関がスポーツを通じた活力ある社会づくりを一体となって取り組んでいく計画です。

加えて、令和5年度から3年後の令和7年度を目途に、全国にて休日の部活動の「地域移行」が開始されます。今後段階的に進んでいくことが基本となっておりますが、当改

革は、学校における部活動を中心にスポーツ文化を育ててきた我が国において、スポーツの歴史を変える大きな改革です。

現在、地方の部活動は様々な問題に直面しており、特に人口減少が加速している地域では、児童の減少とともに学校単位で行うチームスポーツは困難になっている状況にあり、野球やサッカーといったメジャースポーツの部活のない学校も見受けられます。

一方で総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域における部活動の受け皿の整備は、大きな地域格差が生じる可能性が危惧されます。また、行政においては、現在の部活動の管轄である教育委員会と地域の受け皿となる総合型地域スポーツクラブなどを整備するスポーツ・文化の管轄部局が分かれていることから、どちらが主導するか決まらず、縦割り行政の弊害を懸念する声もあります。

国において「地域移行」の連携における方針や中学校体育連盟など関係団体との連携のあり方について、道筋をつけていく上で、地方自治体に強く指導・助言するよう要望していかねばならないと考えます。

地域に移行される過渡期だけに、柔軟に課題と向き合い子どもたちがスポーツをする場の選択肢を大きく広げ、多様なニーズに合った活動機会の充実が図られるよう、スポーツに親しめる環境を整備していかねばなりません。

その為には、県や市町村、競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、企業、医療関係団体など、関係団体全ての皆さんと一体となり、「オールふくしま」で改革への挑戦、「県スポーツ推進計画」の具現化によるスポーツの振興に努めていかねばなりません。私も、副会長として微力ではありますが、精一杯尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 目次

### 協会の概要

- P1 巻頭言
- P2 令和4年度組織・事業概要

### 競技スポーツ～選手の育成・強化に関する事業～

- P5 第77回国民体育大会 関連情報
- P10 特別国民体育大会冬季大会 関連情報
- P13 ふくしまスポーツキッズ発掘事業
- P15 スポーツふくしまビルドアッププロジェクト
- P16 ふくしまゴルフプロジェクト

- P17 福島県スポーツ協会 表彰式

### 生涯スポーツ～スポーツの振興に関する事業～

- P19 幼児期運動啓発事業
- P20 スポーツ医事・トレーニング相談事業／アンチ・ドーピング教育・啓発事業
- P21 指導者養成・研修に関する事業（日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会）
- P23 指導者養成・研修に関する事業（福島県スポーツ指導者研修会〈更新研修会〉）

- P24 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格関連情報
- P25 認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会
- P26 認定アスレティックトレーナー養成講習会
- P27 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業
- P30 広域スポーツセンター事業
- P31 福島県スポーツ少年団事業

### インフォメーション

- P33 チャリティ事業
- P34 賛助会員

### 表紙写真説明

左1段目：ふくしまスポーツキッズ発掘事業「体験プログラム」  
右1段目：陸上競技 小野大輝選手（福島民報社提供）

左2段目：親子体操教室  
右2段目：表彰式

左3段目：聖光学院高等学校野球部の選手たち  
右3段目：バレーボールコーチ1養成講習会

左4段目：福島県スポーツ指導者研修会  
右4段目：スナッグゴルフ

# 公益財団法人福島県スポーツ協会組織図



## 加 盟 団 体 1 1 9

競技団体 57
市町村体育協会 59
学校体育団体 2
公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会 1

### 競技団体

1 (一財) 福島陸上競技協会	31 福島県銃剣道連盟
2 福島県野球連盟	32 福島県クレール射撃協会
3 福島県ソフトテニス連盟	33 福島県セーリング連盟
4 福島県テニス協会	34 福島県空手道連盟
5 (一財) 福島県サッカー協会	35 福島県アーチェリー協会
6 福島県ハンドボール協会	36 福島県なぎなた連盟
7 (一社) 福島県卓球協会	37 福島県アイスホッケー連盟
8 福島県剣道連盟	38 福島県ボウリング連盟
9 福島県ボート協会	39 福島県ゴルフ連盟
10 (一社) 福島県水泳連盟	40 福島県カヌー協会
11 福島県自転車競技連盟	41 福島県ゲートボール協会
12 福島県ホッケー協会	42 福島県少林寺拳法連盟
13 福島県相撲連盟	43 福島県オリエンテーリング協会
14 福島県ライフル射撃協会	44 福島県パワーリフティング協会
15 (一社) 福島県バスケットボール協会	45 福島県ダンススポーツ連盟
16 福島県バドミントン協会	46 福島県武術太極拳連盟
17 福島県ボクシング連盟	47 福島県綱引連盟
18 福島県柔道連盟	48 福島県トリアスロン協会
19 福島県弓道連盟	49 福島県グラウンド・ゴルフ協会
20 福島県ラグビーフットボール協会	50 JABA 福島県野球協会
21 福島県体操協会	51 福島県テコンドー協会
22 福島県スキー連盟	52 福島県バウンドテニス協会
23 福島県スケート連盟	53 福島県ハング・パラグライディング連盟
24 福島県馬術連盟	54 福島県スポーツチャンバラ協会
25 福島県ソフトボール協会	55 福島県インディアカ協会
26 福島県バレーボール協会	56 福島県ボールルームダンス連盟
27 福島県ウエイトリフティング協会	57 福島県エアロビック連盟
28 福島県レスリング協会	
29 福島県フェンシング協会	
30 福島県山岳連盟	

### 市町村団体

1 福島市体育協会	31 公益財団法人喜多方市体育協会
2 二本松市スポーツ協会	32 北塩原村体育協会
3 伊達市スポーツ協会	33 西会津町体育協会
4 桑折町スポーツ協会	34 磐梯町体育協会
5 国見町体育協会	35 猪苗代町体育協会
6 川俣町スポーツ協会	36 会津坂下町スポーツ協会
7 大玉村体育協会	37 湯川村体育協会
8 本宮市体育協会	38 柳津町体育協会
9 郡山市体育協会	39 三島町体育協会
10 須賀川市体育協会	40 金山町体育協会
11 田村市体育協会	41 昭和村体育協会
12 鏡石町体育協会	42 会津美里町体育協会
13 天栄村体育協会	43 南会津町体育協会
14 石川町体育協会	44 下郷町体育協会
15 玉川村体育協会	45 檜枝岐村体育協会
16 平田村体育協会	46 只見町体育協会
17 浅川町体育協会	47 相馬市体育協会
18 古殿町スポーツ協会	48 南相馬市スポーツ協会
19 三春町体育協会	49 NPO法人広野みかんクラブ(広野町体育協会)
20 小野町体育協会	50 一般社団法人檜葉町スポーツ協会
21 特定非営利活動法人白河市体育協会	51 富岡町教育委員会(富岡町体育協会)
22 西郷村スポーツ協会	52 川内村体育協会
23 泉崎村体育協会	53 大熊町体育協会
24 中島村体育協会	54 双葉町体育協会
25 矢吹町スポーツ協会	55 浪江町体育協会
26 棚倉町スポーツ協会	56 葛尾村体育協会
27 矢祭町体育協会	57 新地町スポーツ協会
28 塙町スポーツ協会	58 いいたてスポーツクラブ(飯館村体育協会)
29 鮫川村スポーツ協会	59 いわき市体育協会
30 会津若松市体育協会	

### 令和3・4年度公益財団法人福島県スポーツ協会役員名簿

No.	役職名	氏名	選任区分	備考
	名誉会長	内堀雅雄		福島県知事
	顧問	宗形守敏		前福島県体育協会会長
1	会長	須佐喜夫	加盟競技団体	福島県テニス協会会長
2	副会長	片平俊夫	加盟競技団体	福島陸上競技協会名誉顧問
3	副会長	安藤喜勝	地域連合	県中地域連合会
4	副会長	尾形幸男	学校体育団体	福島県高等学校体育連盟会長
5	副会長	矢吹貢一	会長推薦	県議会議員代表
6	副会長	新井田大	加盟競技団体	福島県ボート協会会長
7	専務理事	滝田勝彦	会長推薦	県文化スポーツ局スポーツ課長
8	常務理事	壺岐ひろみ	加盟競技団体	福島県水泳連盟会長
9	常務理事	長澤初男	加盟競技団体	福島県ソフトボール協会顧問
10	常務理事	大橋哲男	地域連合	会津地域連合会
11	常務理事	佐藤信行	学校体育団体	福島県中学校体育連盟会長
12	常務理事	高橋吉市	スポーツ少年団	福島県スポーツ少年団本部長
13	理事	高橋雅行	加盟競技団体	福島県ハンドボール協会会長
14	理事	斉藤一美	加盟競技団体	福島県卓球協会会長
15	理事	加藤出	加盟競技団体	福島県弓道連盟会長

令和4年8月22日現在

No.	役職名	氏名	選任区分	備考
16	理事	佐藤英壽	加盟競技団体	福島県スケート連盟会長
17	理事	伊藤隆司	加盟競技団体	福島県バレーボール協会会長
18	理事	三島弘司	地域連合	県北地域連合会
19	理事	班目秀雄	地域連合	県南地域連合会
20	理事	貝田美郎	地域連合	南会津地域連合会
21	理事	大亀清壽	地域連合	相双地域連合会
22	理事	事坂満恵	地域連合	いわき市体育協会
23	理事	北村清士	会長推薦	株式会社東邦銀行相談役
24	理事	堀川哲男	会長推薦	公立藤田総合病院名誉院長
25	理事	渡部優生	会長推薦	県議会議員代表
26	理事	真山祐一	会長推薦	県議会議員代表
27	理事	吉田真希子	会長推薦	株式会社東邦銀行
28	理事	安彦元気	会長推薦	あびこ法律事務所弁護士
29	監事	渡邊幹夫	加盟競技団体	福島陸上競技協会監事
30	監事	佐藤洋光	加盟競技団体	福島県バスケットボール協会会長
31	監事	末永敏則	加盟競技団体	福島県水泳連盟

任期：令和3年度定時評議員会終結から令和5年度定時評議員会終結まで



No	加盟団体	評議員名
1	陸上競技	鈴木浩一
2	軟式野球	橋本隆一
3	ソフトテニス	小野間幸一
4	テニス	戸川稔朗
5	サッカー	菅野貴夫
6	ハンドボール	石田智宏
7	卓球	五十嵐修二
8	剣道	武藤士津夫
9	ボート	東條有克
10	水泳	三浦誠
11	自転車競技	班目真紀夫
12	ホッケー	遠藤浩太郎
13	相撲	東海林義一
14	ライフル射撃	菅野益征
15	バスケットボール	安斎司
16	バドミントン	吉田邦男
17	ボクシング	藍原浩
18	柔道	佐川勝人
19	弓道	高井幸子
20	ラグビーフットボール	佐藤弘樹
21	体操	鈴木聖也
22	スキー	一玉川武
23	スケート	阿部良

No	加盟団体	評議員名
24	馬術	坂本邦雄
25	ソフトボール	大野正美
26	バレーボール	渡邊秀雄
27	ウエイトリフティング	高野滋
28	レスリング	渡部友幸
29	フェンシング	秦秀行
30	山岳	平子吉政
31	銃剣道	道佐藤亨
32	クレー射撃	相川登志夫
33	セーリング	保科昇
34	空手	松原光
35	アーチェリー	上田訓久
36	なぎなた	た星憲隆
37	アイスホッケー	水野英暢
38	ボウリング	伊藤寛
39	ゴルフ	原通雄
40	カヌー	遊佐久男
41	ゲートボール	佐藤一八
42	少林寺拳法	鈴木賢一
43	オリエンテーリング	加藤一郎
44	パワーリフティング	金澤巧
45	ダンススポーツ	長谷川守夫
46	武術太極拳	石澤久芳

No	加盟団体	評議員名
47	綱引	安斎一二
48	トライアスロン	三浦光雄
49	グラウンドゴルフ	岩間裕子
50	野球	東城一弘
51	テコンドー	武田健
52	バウンドテニス	千田良
53	ハング・パラグライディング	所秀昭
54	スポーツチャンバラ	堀田満
55	インディアアカ	沼沢行晴
56	ボールルームダンス	金子恒夫
57	エアロビクス	五十嵐由則
58	県北地域連合会	渡邊一郎
59	県中地域連合会	手塚英勝
60	県南地域連合会	花安紀夫
61	会津地域連合会	山野憲雄
62	南会津地域連合会	星公二
63	相双地域連合会	篠木弘
64	いわき市体育協会	廣瀬敬彦
65	高等学校体育連盟	齊藤祐介
66	中学校体育連盟	田中信次
67	スポーツ少年団	今泉春雄
68	障がい者スポーツ協会	七宮弘

※任期は令和3年度の定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

# 令和4年度公益財団法人福島県スポーツ協会事業概要

## 基本方針

公益財団法人福島県スポーツ協会は、競技力の向上と生涯スポーツの推進を二大目標として掲げ、公益財団法人日本スポーツ協会や県・市町村及び加盟団体と連携を図りながら各種事業を推進し、「スポーツに強いふくしま」の確立に努める。

### 1 競技力の向上

公益財団法人福島県スポーツ協会は「スポーツに強いふくしま」の確立を図るため、加盟競技団体、福島県中学校体育連盟、福島県高等学校体育連盟等との連携をより密接なものとし、競技力向上に向けた各種強化事業を積極的に推進する。

### 2 生涯スポーツの推進

県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」をめざして、各関係組織・団体と連携し、生涯スポーツ事業の推進に努める。

## 事業内容

### 1 スポーツ振興事業（公益目的事業1）

事業名	年月日	人数等	会場	内容
1 双葉地区教育 双構想支援事業 (専任コーチ派遣)	通年	-	ふたば未 来学園高 等学校・ 中学校	双葉地区未来創造型リーダー育成構想 に関し、バドミントン競技、レスリン グ競技におけるトップレベルの専任 コーチを派遣し優秀な選手育成に資す る。
2 アンチ・ドーピング 教育・啓発事業	通年	41競技	県内各地	アンチ・ドーピング(ドーピング防止) 徹底のため、国体の監督会議等で講習 会開催や情報提供活動等を実施し、健 全なスポーツ活動の推進を図る。
3 幼児期運動 啓発事業	R4.10	200名程度	県内各地	親子で行う体操や運動を通して、幼児 期における子どもたちの運動への関心 や意欲を高めるとともに、幼児教育に 携わる指導者の指導力向上を図る。
4 スポーツ医事・ トレーニング 相談事業	通年	70回程度	県内各地	スポーツ愛好者や選手のけが・病気等 に関する相談をはじめ、体力や種目の 特性に応じたトレーニング処方を行い、 健全なスポーツ活動の推進を図るため の講師の派遣等を行う。
5 スポーツ情 報提供事業	通年	全県民対象	-	生涯スポーツに関する情報の収集や整 理を行い、情報を発信するためのホー ムページの運営と広報誌「Sport Fu kushima」、メールマガジン「福 スポ協ニュース」の発行
6 顕彰事業の実施 (表彰式)	R5.1	200名程度	福島市	スポーツ功労賞、優秀選手賞(個人・団 体)、優秀指導者賞、社会体育優良団 体賞、特別賞に対する表彰
7 市町村体育大 会開催事業	通年	市町村 体育・ス ポーツ協 会	県内各地	市町村体育・スポーツ協会が実施する 体育大会に対して経費を一部助成
8 自転車競技 場の運営	通年	-	泉崎村	泉崎国際サイクルスタジアムを泉崎村 に無償貸与し管理運営を委託

事業名	年月日	人数等	会場	内容
9 福島県総合体育 大会の開催	R4.4~ R5.1	①53競技 程度 ②6競技 程度 ③18競技	県内各地	①第49回東北総合体育大会・第77回国 民体育大会(いちご一会とちぎ国体)の 選手選考会等 *メイン開催 R4.7.9(土)~7.11(月) *冬季競技は、特別国民体育大会の選 手選考会等 ②県民スポーツ大会(地域連合会) ③スポーツ少年団体育大会
10 東北総合体育 大会への派遣	R4.6~ R4.12 主会期 (8.19 ~8.21)	35競技	青森県内 各地 (岩手県・ 宮城県・ 秋田県)	令和4年度国民体育大会東北ブロック大会 兼 第49回東北総合体育大会
11 国民体育大会 への派遣	R4.9.10 ~ R5.2.20	40競技 程度	栃木県内 各地  青森県内 各地 岩手県 八幡平市	第77回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体) *会期前実施競技 R4.9.10(土)~9.19(月) *本大会 R4.10.1(土)~10.11(火) 特別国民体育大会 「未来へつなぐ八戸国体」 R5.1.28(土)~2.5(日) ・スケート競技(スピード・フィギュア・ ショートトラック) 八戸市 ・アイスホッケー競技 八戸市、南部 町 「いわて八幡平白銀国体」 R5.2.17(金)~2.20(月) ・スキー競技 八幡平市



2 競技力向上特別対策事業（公益目的事業2）

選手の育成・強化

事業名	年月日	人数等	会場	内容
1 ふくしまスポーツキッズ発掘事業	通年	13競技程度	県内各地	小学生を対象としたポテンシャルアスリートの発掘及びスポーツとふれあう機会の拡充
2 (新)スポートスマッププロジェクト	38競技		県内・県外各地	国体等で上位入賞できる県内競技団体の「強化」に加え、キッズ・ジュニア世代の重点的な「育成」、潜在能力が高く将来性のある選手の「発掘」に取り組む、「発掘・育成・強化」の一体的な推進による持続的な本県スポーツ競技力の向上を図る ①(新)国体強化支援事業・国体上位入賞に向けた強化練習会、合宿等の開催 ②(新)リアルタイムスポーツ強化指定事業・東京2020オリンピックを通して本県との関わりが深く、競技力向上に資する事が期待される団体種目の少年種別を指定し更なる強化を図る ③(新)拠点スポーツサポート事業・競技人口減少等の課題を有する競技団体に強化拠点地域内のキッズ選手に強化支援を実施し、競技の裾野拡大と底上げを図る ④(新)ジュニアアスリート強化指定事業・震災の影響等により競技力の低迷が課題となつての少年種別の競技力向上のため、競技種目ごとに中心的な役割を果たす中学校・高等学校、クラブチーム、ジュニア選手に対して活動を支援する ⑤(新)ネクストアスリート支援事業・日本代表入りをし、国際的な大会等で活躍を目指す若手アスリート等に対し強化練習会に要する費用等を支援する ⑥(新)リーディングコーチ養成事業・競技力向上とスポーツインテグリティに係る研修会を実施し、競技団体の持続可能な強化体制を推進していく上で、牽引役となる指導者を養成する ⑦(新)冬季国体強化支援事業・冬季3競技において国体等での入賞を自負する競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等実施に要する費用を支援する ⑧(新)ふくしまシャイニングスタープロジェクト・オリンピック出場選手輩出実績のある競技の体力テストや適性テスト等を行い、将来性があるアスリートを発掘するとともに、競技開始と定着を支援する
	6種目			
	8競技			
	30チーム程度			
	ネクストアスリート15名程度			
リーディングコーチ14名程度				
3競技				
2競技				
3 強化合宿事業への指導・助言	通年	41競技	県内各地	競技団体の開催する強化合宿等への指導・激励訪問を実施
4 ふくしまゴルフプロジェクト	通年	競技指導者・競技者	県内	一般社団法人日本女子プロゴルフ協会から講師を招聘し、県内ゴルフ人口の裾野拡大と指導者の育成及び競技力の向上を目的とした「ふくしまゴルフ人材育成事業」を実施

会議等

事業名	年月日	人数等	会場	内容
1 体育・スポーツ団体調整会議	R4.5	41競技強化担当者等約130名	福島市	各競技団体の強化担当者や事務担当者や各種競技力向上事業について連絡調整を図り、共通理解のもと一層効率的な強化事業の推進に努めるための会議の開催
2 強化対策会議のヒアリング	R4.12～R5.3	41競技強化担当者約80名	福島市	令和4年度強化事業の反省と特別国民体育大会（冬季競技）については78回大会に向けた競技力の現状分析と対応策についての会議の開催

指導者養成・研修

事業名	年月日	人数等	会場	内容
1 福島県スポーツ指導者研修会（更新研修会）	R4.11.13 R4.12.11	各回80～200名	郡山市	指導者の資質向上と地域におけるスポーツ活動の活性化を図るための研修会の開催
2 J S P O 公認2次養成講習会	R4.6～R5.5	約100名	県内各地	クラブ等において、対象に合わせた指導のできる競技別指導者を養成するための講習会の開催

3 ふくしま広域スポーツセンター事業（公益目的事業3）

事業名	年月日	人数等	会場	内容
広域スポーツセンター事業				
1 設立市町村訪問	随時	12市町村	県内各地	設立市町村を訪問しクラブ育成の理解促進を図る 専門性のある講師を派遣し支援
2 公認アシスタント養成講習会	R4.8	30人	福島市	総合型クラブのマネジメントの中核を担うクラブマネージャーの養成
3 情報提供事業	随時	79クラブ	県内・県外各地	総合型クラブに関する各種情報を発信
総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業				
1 総会	R4.4	80人	福島市	総会の開催
2 常任幹事会	R4.6 R5.1	各16人	福島市	常任幹事会の開催
3 専門部会	年5回	15人	県内各地	研修会や交流会の企画運営、広報資料の作成企画等について検討
4 研修会・交流会	随時	50人	県内各地	クラブ運営強化及び関係者の資質向上を目的とした研修会や、クラブ間の情報交換や交流の促進を図ることを目的とした交流会の開催
5 全国・東北事業	随時	5人	県内・県外各地	S C 全国ネットワーク総会への出席や関連事業への参加
6 地区S C 補助事業	随時	7地区	県内各地	県内7地区の地区S C が開催する会議、研修会、交流会をはじめとする事業費・運営費を補助
7 クラブ支援事業	随時	60クラブ	県内各地	総合型クラブへの指導・助言等の相談窓口の設置（委託）による総合型クラブ組織のネットワークの充実・強化を図る
8 広報啓発事業	随時	60クラブ	県内・県外各地	広報誌やホームページによる情報発信
9 登録・認証制度運用	随時	24人	県内各地	総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用 登録審査委員会の開催（登録申請書の書面審査、実地審査）

4 令和4年度福島県スポーツ少年団事業（公益目的事業4）

事業名	年月日	人数等	会場	内容	
国内交流・競技別交流大会	全国スポーツ少年大会	8月4日～7日	2名	鹿児島県	スポーツ少年団員の交流やスポーツ大会を通して、青少年のからだところを育み、健全育成に努めるための各種交流大会・競技別交流大会
	東北ブロックスポーツ少年大会	8月4日～8月6日	10名	福島県	
	福島県スポーツ少年大会兼東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業	中止	80名	福島県	
	青少年交流事業（サッカー・ソフトボール・ミニバスケットボール・軟式野球）	中止	300名	福島県	
	福島県総合体育大会スポーツ少年団体育大会【主会期】	7月～	18競技	県内各地	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会福島県大会	6月	16チーム	未定	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北IIブロック予選大会	7月上旬	2チーム	宮城県	
	東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交歓大会	2月下旬・3月上旬	6チーム	秋田県	
	東北地区サッカースポーツ少年団交流大会	7月中旬	2チーム	青森県	
	東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会	11月下旬	4チーム	秋田県	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月4日～7日	1チーム	奈良県	
	全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	8月11日～14日	1チーム	東京都	
	JFA全日本U-12サッカー選手権大会（日スポ少共催）	12月下旬	1チーム	鹿児島県	
	全国スポーツ少年団剣道交流大会	3月25日～27日	1チーム	新潟県	
全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	3月24日～27日	1チーム	静岡県		
交流際	日独スポーツ少年団同時交流【受入】	中止		福島県	ドイツユースの受入れとドイツの派遣を通して、親善を深めるとともに、国際的な視野に富んだ若者の育成
	日独スポーツ少年団同時交流【オンライン交流】	8月1日～5日	0名	オンライン	
育成・指導者	ジュニア・リーダースクール（県内6会場）	8月～12月	180名	各支部	各支部の研修や中央での研修を通して、次代を担うリーダーの育成
	日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール	8月9日～12日	2名	静岡県	
	スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会（対面）	10月	200名	郡山市	
	スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会（オンライン）	11月	200名	オンライン	
指導者	福島県育成母集団研修会	2月4日	40名	会津支部	指導者の資質の向上や母集団の育成・組織強化のための研修会の開催
	東北ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	11月上旬	28名	福島市	
	スポーツ少年団指導者研修事業（再研修事業）	一年間	200名	県内各市町村	
大会	福島県スポーツ少年団リーダー会定例会（4回）	5月～3月	15名	郡山市	リーダー会員の交流や研修のために、県やブロックでの研修会の開催
	全国スポーツ少年団リーダー連絡会	6月11日	2名	東京都オンライン	
	北海道・東北ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	10月中旬	5名	岩手県	
会議・研修・式典・広報	福島県スポーツ少年団指導者協議会運営委員会2回	4月28日/2月16日	各30名	福島市	市町村スポーツ少年団本部や各支部と県本部、さらには、北海道・東北ブロック及び日本スポーツ少年団との連携を深めるための会議の開催 本団指導者協議会の組織強化やリーダーの養成、指導者の育成のための会議の開催
	福島県スポーツ少年団 常任委員会2回 評議員会2回	5月19日/2月16日	各80名	福島市	
	福島県スポーツ少年団表彰2回・派遣選考委員会1回	5月/10月/2月	各8名	福島市	
	福島県スポーツ少年団表彰式、日本スポーツ少年団顕彰伝達式	12月	60名	福島市	
	東北ブロックスポーツ少年団会議連絡協議会2回、指導者協議会1回 北海道・東北ブロック1回	5月/2月	4名	青森県	
	日本スポーツ少年団会議4回 委員総会2回 指導者協議会1回 事務担当者会議1回	5月/2月	各1名	東京都（オンライン併用）	
	福島県スポーツ少年団広報誌「本部報第46号」の発行	3月下旬	2,000部		



## 第77回 国民体育大会成績

### ① 参加状況

大会	区分	会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R 4. 1/24(月) ～1/30(日)	栃 木 県 日 光 市	佐藤 英壽	2	8	3	31	42
	ス キ ー 競 技 会	R 4. 2/17(木) ～2/20(日)	秋 鹿 県 鹿 角 市	玉川 武	1	6	3	33	42
本 大 会		R 4.10/ 1 (土)～10/11(火) 会期前競技: 9/10(土)～19(月)	栃 木 県 宇 都 宮 市 他	須佐 喜夫	34	18	67	384	469

### ② 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		3点	10点	13点	29位	3点	10点	13点	24位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	11位	—	—	—	—
ス キ ー 競 技 会		0点	10点	10点	27位	0点	10点	10点	19位
本 大 会		330点	370点	700点	39位	70.5点	330点	400.5点	45位
合 計		333点	400点	733点	41位	73.5点	350点	423.5点	45位



開会式に参加した本部役員と選手団

### ③ 入賞状況 本体会

●水泳競技 競技得点 1点 天皇杯 41位 皇后杯 39位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年女子B	100mバタフライ	8	1	井 上 葵 陽	いわき秀英高等学校 1年



●ボート競技 競技得点 7点 天皇杯 27位 皇后杯 21位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子	シングルスカル	8	1	諸 橋 俊 輔	湖南高等学校 3年
少年女子	ダブルスカル	7	6	栗 城 愛 里	西会津高等学校 3年
				古 川 萌	西会津高等学校 2年





●陸上競技 競技得点 53点 天皇杯 15位 皇后杯 29位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	三段跳	4	5	山下航平	ANA
	800m	5	4	安倍優紀	東海大学 3年
成年女子	300m	5	4	松本奈菜子	東邦銀行
	走幅跳	6	3	曲山純平	日本大学東北高等学校 2年
少年男子A	300mH	2	7	今西亮太	葵高等学校 3年
	300m	3	6	大谷介人	帝京安積高等学校 3年
少年男子B	円盤投	1	8	小野大輝	日本大学東北高等学校 1年
	3000m	3	6	増子陽太	鏡石中学校 3年
少年女子A	100m	7	2	谷口紗菜	福島成蹊高等学校 2年
	やり投	2	7	根本穂波	日本大学東北高等学校 3年
少年女子B	100m	8	1	陣野莉心	日本大学東北高等学校 1年

●ライフル射撃競技 競技得点 3点 天皇杯 38位 皇后杯 29位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ビーム・ピストル60発	6	3	須藤巧	日本大学東北高等学校 2年

●バレーボール競技 競技得点 15点 天皇杯 24位 皇后杯 18位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ビーチバレーボール	5	10.5	新妻権	相馬高等学校 3年
				佐藤楓也	相馬高等学校 3年
少年女子	ビーチバレーボール	7	4.5	齋藤美月	相馬総合高等学校 3年
				八巻真央	相馬総合高等学校 2年

●体操競技 競技得点 1点 天皇杯 23位 皇后杯 18位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
男子	トランポリン	8	1	菊地智周	朝日が丘小学校(教)



陸上競技 増子陽太選手



ビーチバレーボール 少年男女



体操競技 菊地智周選手



いちご一会とちぎ国体を終えて

私は栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体」に出場させていただき、少年女子Aやり投げで2位になることができました。

この結果に至るまでを振り返ると、春に45m91という自己ベストを出してから中々記録が伸びず、その後の大会でも思うような結果を出せず苦しい時期がありました。しかし、国体強化合宿を通して自分に足りないところや投げの技術、フォームを改善していき自信をつけることができました。大会に入り、後輩の小野君が少年男子B円盤投げで優勝したのを見て自分も負けじと入賞できるように頑張りたいと思いました。

試合当日、2投目で5位に上がり顧問の高橋先生から「3投目は冷静でいくか、自分を高め

陸上競技 [少年女子A やり投]

日本大学東北高等学校 3年 根本穂波

ていきたいか」と言われ迷わず自分を高めて投げることを選択し、3投目に挑みました。51m43という記録が電光掲示板に映し出されました。自己ベストの大幅更新、50mを越えたことに驚きました。

このような結果を出すことができたのは自分だけの力ではないと強く感じました。試合を近くで見てくださった高橋先生、渡辺先生、鈴木先生の3人の先生方と家族の応援のおかげであると思います。高校3年間の陸上生活をとてもいい形で締めくくることができたこと、恩返しのできたことを嬉しく思います。大学でも良い結果が出せるよう、これからも練習に励んでいきたいです。



福島民友社提供

初めての国体を終えて

私は今回、円盤投げで出場させていただきました。私の種目は初日にあり、自分が入賞をしてよい流れを作ってみせるという気持ちで勝負に挑みました。試合の1投目では、焦る気持ちと周りの雰囲気によって良い投げが出来ませんでした。2投目には、反省を生かし記録を大幅に伸ばす事が出来ました。予選最終投まで、落ち着いて自分のベストを投げることができ、44m42cmという大会自己ベストを投げることができ、優勝することが出来ました。ですが、まだまだ修正点があるので練習を重ねていきます。これからも、ウエイトトレーニングや技術

陸上競技 [少年男子B 円盤投]

日本大学東北高等学校 1年 小野大輝

補強を行い、より強くなれるように努力します。また、来年からは、成年男子円盤投げの出場になります。選手の方のレベルや円盤の重さも上がりますが、中でも活躍することが出来るように頑張ります。これからも、先生方のご指導を受けながら、日々の練習に励みたいと思います。

●レスリング競技 競技得点 7.5点 天皇杯 40位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所	属
成年男子	フリースタイル57kg級	5	2.5	五十嵐 開	東北学院大学	1年
	フリースタイル61kg級	5	2.5	榊 流斗	山梨学院大学	4年
少年男子	グレコローマンスタイル80kg級	5	2.5	生 亀 奏	田島高等学校	2年



レスリング競技 五十嵐開選手

●ウエイトリフティング競技 競技得点 86点 天皇杯 4位 皇后杯 10位

種別	種目	順位	得点	選手名	所	属
成年男子	55kg級 C & J	5	4	君 島 一 成	日本大学	3年
	73kg級 スナッチ	1	8	近 内 三 孝	日本大学(職)	
	73kg級 C & J	3	6	近 内 三 孝	日本大学(職)	
	89kg級 スナッチ	2	7	宍 戸 大 輔	日本大学(職)	
	89kg級 C & J	2	7	宍 戸 大 輔	日本大学(職)	
	96kg級 C & J	7	2	山 川 良 太	石倉新聞店	
少年男子	73kg級 スナッチ	3	6	大 内 大 輔	田村高等学校	3年
	73kg級 C & J	3	6	大 内 大 輔	田村高等学校	3年
	81kg級 スナッチ	1	8	浪 越 晴太郎	福島工業高等学校	3年
	81kg級 C & J	3	6	浪 越 晴太郎	福島工業高等学校	3年
	+102kg級 スナッチ	2	7	荒 木 仁 志	田村高等学校	3年
	+102kg級 C & J	3	6	荒 木 仁 志	田村高等学校	3年
女 子	59kg級 スナッチ	2	7	遠 藤 梨 李	東京国際大学	3年
	59kg級 C & J	3	6	遠 藤 梨 李	東京国際大学	3年



ウエイトリフティング競技 近内三孝選手

●自転車競技 競技得点 53点 天皇杯 4位 皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所	属
成年男子	1 kmタイムトライアル	2	7	邊 見 竜 馬	日本大学	3年
	スプリント	1	8	三 神 遼 矢	日本大学	3年
	ケイリン	5	4	中 村 龍 吉	中央大学	4年
男 子	チームスプリント	3	18	三 神 遼 矢	日本大学	3年
				高 木 海 安	平工業高等学校	3年
				山 崎 歩 夢	平工業高等学校	3年
少年男子	スプリント	4	5	高 木 海 安	平工業高等学校	3年
	1 kmタイムトライアル	2	7	山 崎 歩 夢	平工業高等学校	3年
	ケイリン	5	4	福 田 悠 航	学法石川高等学校	2年



自転車競技 男子チームスプリント



ソフトテニス競技吉田拓翔選手



いちご一会とちぎ国体を終えて

ウエイトリフティング競技 [少年男子 81kg スナッチ C&J]  
福島工業高等学校 3年 浪越 晴太郎

第77回国民体育大会では、沢山の方々のご声援のおかげで結果を残すことができました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

今年の夏に愛媛県で開催されたインターハイでは、スナッチ競技は1位でしたがクリーン&ジャーク競技では怪我のため途中棄権という不本意な結果に終わり、悔しい思いをしました。

国体選手に選ばれてからは同じことを繰り返さないよう、県選抜合宿では出場する仲間とともに猛練習をこなし、力をつけました。その甲斐があってスナッチ競技第

1位、クリーン&ジャーク競技第3位、トータル第2位と結果を残すことができました。サポートしてくださった先生方やアウェイの中学生懸命応援してくれた福島県チームと関係者の方々に感謝いたします。更に少年の部で出場した3名全員が3位以内に入賞できたことが最高の思い出になりました。

私はこれからも大学に進学して競技を続けるつもりです。まだまだ課題は沢山ありますが、これからも一生懸命練習し福島県のエースである近内先輩や宍戸先輩に少しでも近づけるように頑張っていきたいと思っています。



いちご一会とちぎ国体を終えて

自転車競技 [成年男子スプリント 男子チームスプリント]  
日本大学 3年 三神 遼 矢

私は今回、栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体」に福島県の代表として出場させていただきました。

私は、国体出場は今回で3回目となりました。現在私は大学3年生ですが、大学1年生時と2年生時はコロナウィルスの影響で国体が開催されませんでした。今年は国体を開催していただいてとても感謝しております。

今回の国体の結果は、個人種目のスプリントで1位、チーム種目のチームスプリントでは3位となりました。欲を言えば両方とも1位を獲りたかったのですが、力不足でした。しかし、スプリントでは、予選タイムで大会新記録を出し対戦でも1本も取られることなく完全優勝することができました。

私は、8月にコロナウイルスに感染してしまい、その

後調子を落としてしまっていたのですが、福島県で国体の前にトレーニングキャンプを組んでいただき、そこで調子を戻すことができました。それが今回の勝利に大きく関わったと思います。とても感謝しています。

そして、日頃から私を応援してくれている方々や高校の時から私を育ててくださった方々、サポートしてくれた仲間たちや家族のみんなが勝ちとったものだと感じています。私がスプリントで優勝したときに、喜んでくれている人たちを見て頑張ってた良かったと心から思いました。皆様、ありがとうございます。そして故郷福島県のため、自分の目標を達成するために世界の頂点を目指して頑張っていきたいと思っています。今後ともご支援の程よろしくお願致します。



●ソフトテニス競技 競技得点 5点 天皇杯 19位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		8	5	佐藤 良吹	学校法人石川高等学校 2年
				菅原 大馳	学校法人石川高等学校 2年
				齋藤 楓雅	田村高等学校 3年
				安部 蓮生	田村高等学校 3年
				吉田 拓翔	田村高等学校 1年



ソフトテニス競技 少年男子

●ソフトボール競技 競技得点 20点 天皇杯 14位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	20	吉田 陽平	郡山北工業高等学校 3年
				伊藤 丈慈	郡山北工業高等学校 3年
				鈴木 陸士	郡山北工業高等学校 3年
				矢吹 侑大	郡山北工業高等学校 3年
				佐藤 啓	郡山北工業高等学校 3年
				七海 陽希	郡山北工業高等学校 3年
				上石 晃弥	郡山北工業高等学校 2年
				佐藤 比呂	郡山北工業高等学校 2年
				加藤 徳馬	郡山北工業高等学校 2年
				鈴木 真心	郡山北工業高等学校 2年
				山中大雅	郡山北工業高等学校 1年
				鈴木 大暉	郡山北工業高等学校 1年
近藤 和希	須賀川創英館高等学校 3年				



ソフトボール競技 少年男子



バドミントン競技 岩野・崎野選手

●バドミントン競技 競技得点 31.5点 天皇杯 6位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	7.5	吉田 翼	日本体育大学 1年
				萩原 聖也	明治大学 1年
				齋藤 広	日本体育大学 1年
少年男子		1	24	岩野 滉也	ふたば未来学園高等学校 3年
				谷岡 大后	ふたば未来学園高等学校 2年
				崎野 翔太	ふたば未来学園高等学校 3年



弓道競技 少年女子



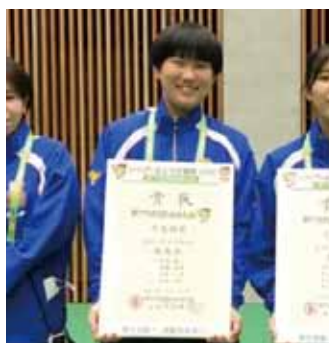
とちぎ国体を終えて

私は栃木県で開催された「いちご一会とちぎ国体」に出場させていただきました。夏のインターハイでは頂点に届かず、国体こそは優勝したいという気持ちで挑みました。インターハイ同様の組み合わせで、一戦一戦気が抜けない状態でした。更に国体直前でキャプテンが怪傷をしてしまいメンバー変更を余儀なくされ、勝負に対する不安に加えてチームをまとめなければならない重圧がありました。しかし、同じ敗戦はしたくない。必ず勝つ。という気持ちでコートに立ち、迎えた今大会一番の山場、埼玉県との準々決勝。ダブルスを落としてしまいましたが、第1シングルスを取り返し、勝負の第2シングルス。勝負の行方は私に託されました。1ゲーム目は相手の勢いに押されたまま先取され、更に2ゲーム目の最初に足が攣ってしまいました。ここで負けてしまうかもしれな

バドミントン競技【少年男子】

ふたば未来学園高等学校 3年 岩野 滉也

いと弱気になってしまいましたが、福島県を背負って戦っているのが簡単には諦められない、今自分がやれる事を最大限やろうと思いました。足が攣りながらも我慢をしてラリーを続けていると相手選手も足が攣ってしまいました。なんとか逆転し、3試合で合計4時間にも及ぶ大接戦に勝利することができました。苦しい試合を乗り越えた分、その後の準決勝、決勝は波に乗って優勝することができました。いつも以上に不安を抱えながら挑んだ大会でしたが、チームを引っ張っていく立場として、また、福島県の代表としての責任を果たすことができた大会でした。この経験を活かしてこれからも応援してくれる方々や福島県民に元気を希望を与えることのできる選手になれるよう更に頑張っていきたいと思いますので、今後ともご支援の程よろしくお願いたします。



「いちご一会とちぎ国体」から得たもの

6月に選拔され、約3ヶ月間国体優勝を目標に練習を積みました。東北総体で優勝し、国体出場の権利を手に入れましたが、感じたことの無いプレッシャーでの中が伸びず、精神的に苦しい練習が続きました。国体本番では、第1日目の近似的競技で24射14中（あと1本で決勝トーナメント進出）という悔しい結果となりました。2日目は得意の遠的競技。前日の悔しさを晴らし予選を24射155点で1位通過し、準々決勝で岐阜県に61-52で勝利。しかし、準決勝では優勝した愛知県に47-65で敗れ、3位決定戦でも栃木県に19-21で惜敗。結果は第4位。しかし、福島県少年女子の遠的競技入賞は16年振りであり過去最高順位であるということを知り、複雑な悔しさが込み上げてく

弓道競技【少年女子遠的】

福島工業高等学校 3年 阿部 るな

ることとなりました。進路活動と並行しての強化合宿は、辛いものでした。苦しい練習からは人間的な成長も得ました。国体優勝という目標は実現できませんでしたが、代え難い達成感を感じています。道具調整やメンタル面でいつも支えてくださった監督とコーチ、どんな時でも笑顔で支え合ってきた3人の仲間、コロナ禍で制限がありつつも応援してくれた福島県の国体関係者、保護者の方々のおかげです。高校最後の大会でこのような経験ができたことに心から感謝し、次は成年女子で活躍したいという決意を新たにしました。

●弓道競技 競技得点 15点 天皇杯 18位 皇后杯 11位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	遠的	4	15	高橋愛珠	福島工業高等学校 3年
				中島七海	福島南高等学校 3年
				阿部るな	福島工業高等学校 3年



カヌー競技 青木瑞樹選手

●カヌー競技 競技得点 4点 天皇杯 42位 皇后杯 36位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	SP K-1 500m	5	4	青木瑞樹	自衛隊体育学校

●空手道競技 競技得点 5点 天皇杯 21位 皇后杯 12位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	組手(個人)形	5	2.5	藤田羽彩	尚志高等学校 3年
		5	2.5	井上優菜	尚志高等学校 3年



軟式野球競技 小林弘樹投手

●軟式野球競技 競技得点 8点 天皇杯 8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		8	8	本田幸輝	相双リテック
				渡邊貴大	相双リテック
				川崎優成	相双リテック
				高橋秀国	相双リテック
				南口友貴	相双リテック
				東條龍心	相双リテック
				佐藤大輝	相双リテック
				荒聖一郎	相双リテック
				小林弘樹	相双リテック
				本馬亮平	相双リテック
				菅野康男	相双リテック
				辻本那智	相双リテック
				伊藝彰吾	相双リテック
木村哲汰	相双リテック				
寺田一貴	相双リテック				



なぎなた競技 成年・少年女子

●なぎなた競技 競技得点 12点 天皇杯 13位 皇后杯 13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	試合	5	12	辰野心音	会津学鳳高等学校 3年
				野村咲祐	会津学鳳高等学校 2年
				長島里咲	会津学鳳高等学校 2年

●銃剣道競技 競技得点 3点 天皇杯 13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		8	3	菅野学	陸上自衛隊第44普通科連隊
				吉田達也	陸上自衛隊第44普通科連隊
				秋元陽樹	陸上自衛隊第44普通科連隊



銃剣道競技 菅野学選手



感謝

私たちは夏の甲子園大会で優勝を目指しましたが準決勝で敗れました。しかしこの国民体育大会において、もう一度日本一を目指すチャンスを得たこと、もう一度熱くなれる場を得たことに心から感謝いたします。

私たちは、高校入学時から「日本一」という目標を持っていました。しかし全国的にみても、本校の歴代のレベルをみても相手を圧倒できる力もなく、それどころか「力のない世代」と言われていました。だからこそチームの絆や仲間を思いやる気持ち、繋がりにこだわりを持ってチーム力に磨きかける日々を重ねてきました。しかしその想いとは裏腹に、チームがうまくいかない時期も長くありました。そんな時は選手間で時には怒り、時には涙ながらにミーティングを重ねました。そうやってどんな時も全員で前を向き、辛いことを乗り越えてきたチームには目に見えない絆が深く

高等学校野球競技(硬式)

聖光学院高等学校野球部主将 3年 赤堀 颯

刻まれたように感じています。そしてその絆こそがこのチームの一番の強みになり、唯一無二の「力」となりました。

甲子園大会が終わったあとも私たちは「現役」として練習を重ね、あの夏と同じ熱量で国民体育大会に挑みました。決勝戦では大阪桐蔭高校に敗れましたが日本一の夢は断たれましたが、すべての戦いを終えた私たちの中には結果以上に大切な宝物が残ったことに気づき、感動の最後を迎えることができました。10月まで大切な仲間と本気で戦えたこと、その機会を得たことに改めて感謝いたします。

最後に、今大会を通して多くのご支援・ご声援をいただいた県民の皆様、本当にありがとうございました。





## 特別国民体育大会冬季大会成績

### ① 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R5.1/28(土) ～2/5(日)	青森県 八戸市	佐藤 英壽	2	10	3	30	43
	スキー競技会	R5.2/17(金) ～2/20(月)	岩手県 八幡平市	玉川 武	1	9	3	38	50

### ② 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		5点	10点	15点	26位	5点	10点	15点	21位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	11位	—	—	—	—
スキー競技会		6.5点	10点	16.5点	18位	2.5点	10点	12.5点	15位
合計		11.5点	30点	41.5点	27位	7.5点	20点	27.5点	25位

### ③ 入賞状況

●スケート競技 競技得点 5点 天皇杯 26位 皇后杯 21位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	スピード 1000m	5	4	安田 彩夏	八戸学院大学 3年
	スピード 1500m	8	1	秋山 光希	山梨学院大学 4年

●スキー競技 競技得点 6.5点 天皇杯 18位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子A	ジャイアントスラローム	5	4	菊地 朝仁	東洋大学 4年
少年女子	ジャイアントスラローム	6	2.5	伊藤 瑞恵	若松商業高等学校 2年

## いわて八幡平白銀国体を終えて

スキー競技〔成年男子Aジャイアントスラローム〕  
東洋大学 4年 菊地 朝仁

私は岩手県八幡平市で開催された「いわて八幡平白銀国体」に出場させていただきました。国体の出場は今回で7回目となりました。今回まで1度もポイントを獲得したことが無く、不甲斐ない成績が続き、1度も福島県へ貢献する事が出来ませんでした。そのため、今回こそは必ずポイントを獲得し、福島県に貢献するという強い気持ちで国体を迎えました。

私は成年男子Aのジャイアントスラローム競技に出場しました。シーズン始めの12月に行われた福島県スキー連盟の強化合宿から、ターンの質を向上させるという目標を常に追い続け、スキーに取り組みました。その結果、今シーズンは調子良く各レースに参加することができました。そして、迎えた国体では厳しいレースとなりましたが、5位入賞を収め、目標であった福島県に貢献することができました。

今回このような結果を収めることができたのは、両親や福島県スポーツ協会の皆様をはじめ、各高校のスキー部の顧問の先生や応援してくださった皆様の力があってのことです。来年からは社会人として上記の方々に今度は私が貢献できるように精一杯頑張りたいです。



## 未来へつなぐ八戸国体を終えて

スケート競技〔成年女子スピード 1000m〕  
八戸学院大学 3年 安田 彩夏

私は青森県八戸市で開催された「未来へつなぐ八戸国体」において500m・1000m・2000m リレーの3種目に出場しました。今回の八戸国体では大学での練習場となっているYSアリーナが会場となり、自分にとって慣れ親しんだリンクでの挑戦になりました。

500m・2000m リレーの結果は悔しくも予選通過をすることが出来ず、相手選手とのレベルの違いや練習の差を見せつけられるレースとなりました。1000mでは運を味方につけて予選通過することが出来ました。決勝では自分より強い選手に囲まれながらのレースとなったのですが、絶対に負けないという強い意志を持って挑み、ゴールを通過するまで少しも気を抜けないレースとなりました。

第2のホームリンクで5位入賞をつかむことが出来たのは、福島県スポーツ協会の皆様をはじめ、監督、応援してくださった皆様のおかげで結果を残すことが出来ました。今回の結果に満足して終わることなく、残りの大学生活やスケート人生に悔いが残らないようにトレーニングを行っていき、来年以降も福島県に貢献できるよう強化していきたいと思います。

応援ありがとうございました。



## 特別国民大会冬季大会を終えて

スケート競技〔成年女子スピード 1500m〕  
山梨学院大学 4年 秋山 光希

私は青森県八戸市で開催された特別国民体育大会冬季大会にスケート競技で出場させていただきました。成年女子としての参加は4回目となり、1500mと3000mと2000m Rに出場しました。

1日目に行われた1500mは計画的に責任先頭を完了することに成功し、私自身成年になってから初めての決勝に進むことができました。決勝は格上の選手が多い中でのレースとなり、スピード感のあるレースで8位に入賞することができました。2日目に行われた3000mの予選は複数の選手の転倒がありましたが、私自身の強みである冷静な判断力を生かして決勝に進むことができました。決勝は入賞まで0.06秒届かず昨年と同様の9位に終わってしまいましたが、成年の枠でも同等に戦えると手応えを感じることができました。2000m Rは予選落ちとなってしまいましたが、小学校時代から厳しい練習を共に乗り越えてきた仲間と成年になっても一緒に滑ることができる喜びを噛み締めることができました。福島県のチームの方々からの応援を力に変え、福島県のポイントに貢献できたことを嬉しく思っています。

私は中学3年生から福島県代表として国民体育大会に出場しています。現在まで出場できているのは福島県スポーツ協会の皆様をはじめ、指導に関わってくださった先生方、応援してくださった方々のおかげです。来年以降もお世話になった福島県に恩返しができるよう精進して参ります。ありがとうございました。





## 今シーズンを振り返って

### スキー競技〔少年女子ジャイアントスラローム〕 若松商業高等学校 2年 伊藤 瑞恵

私は岩手県八幡平市で開催された白銀国体に出場しました。昨年は秋田県で開催された鹿角国体に出場しましたが、満足のいく結果が得られず、とても悔しい思いをしたのをとても覚えています。

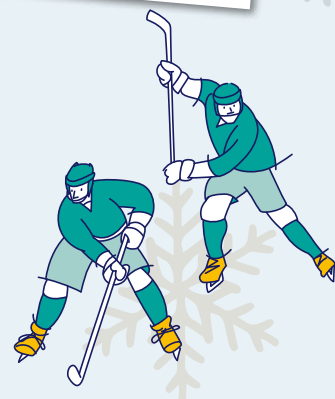
私自身11月にヨーロッパ合宿に参加し、今まで気づくことができなかった自分自身の課題と向き合うことができました。海外の選手の滑りを間近に見て多くの刺激を受け、自分の未熟さを改めて感じました。

今シーズンは、より前に動いて自分からスピードを出す滑りを意識するようになってきました。普段の練習でもそこを重点的に指導されてきました。その甲斐あって、2月上旬に行われたインターハイGS競技では10位入賞を果たすことができました。

インターハイに続く国体は視界が悪く、とてもいい天候とはいえない状況でした。インターハイで入賞したというのもあり、期待に応えなければいけないというプレッシャーを感じていて、スタート前はかなり緊張していました。そのような気持ちの中でも今回6位に入賞できたことは、今後の自信に繋がられると思います。

今シーズンの結果は、家族、福島県選手団の皆さんをはじめ、たくさんの方々に支えてもらって得られたものだと思います。

来年は今年より夏場のトレーニングに力を入れ、全国大会でトップの選手ととともに戦えるように日々の練習に取り組んでいきたいと思っています。



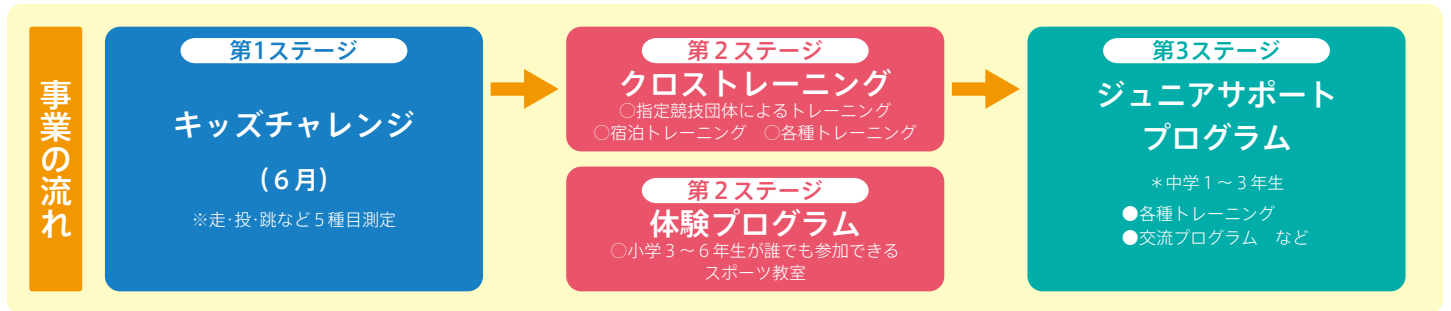


～公益財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業～



# ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、前年度までに選考された中学生対象のジュニアサポートプログラムも実施しました。



## 第1ステージ キッズチャレンジ

令和4年度の第1ステージキッズチャレンジは、6月に県内2会場計4回実施しました。

### ●キッズチャレンジの内容(5種目実施)

- 25m走
- 四方向ステップ
- 反復横跳
- 膝立ちボール投げ
- 立五段跳

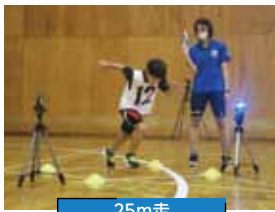
### ●会場・実施日・参加人数

開催会場	日程	会場	備考
福島会場	6月12日(日)	福島市南体育館	2部制
郡山会場	6月18日(土)	郡山市西部第二体育館	2部制

1回の定員50名とし、2会場4回実施した。



反復横跳



25m走



立五段跳



膝立ちボール投げ



四方向ステップ

## 第2ステージ クロストレーニング

第1ステージで選考された40名のキッズが参加した第2ステージクロストレーニングは、9月から活動が始まりました。体操競技、宿泊トレーニングは中止となりましたが、12月の修了式までの全4回の活動を行いました。各種トレーニングの内容については、普段学校の授業ではなかなか触れることのできない競技種目が多く、参加したキッズは目を輝かせながら活動しました。

日程	種目	主管団体
9月3日(土)	開始式・バスケットボール	福島県バスケットボール協会
10月2日(日)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟
12月17日(土)	フェンシング	福島県フェンシング協会
12月18日(日)	スポーツマンとは スプリントトレーニング 保護者向け栄養学 修了式	県スポ協(外部指導者招聘)



開始式



バスケットボール



アイスホッケー



フェンシング



スプリントトレーニング



修了式



## 第2ステージ 体験プログラム

第2ステージ体験プログラムについては、20回のプログラムを実施しました。例年、県内の小学3～6年生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しています。毎年多くのキッズに様々な競技種目に参加していただいております。

日程	種目	主管団体
7月 2日(土)	ライフル射撃	福島県ライフル射撃協会
7月24日(日)	カヌー (スラローム)	福島県カヌー協会
7月31日(日)		
8月 6日(土)午前 8月 6日(土)午後	セーリング	福島県セーリング連盟
8月11日(木)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会
9月 4日(日)	ボクシング	福島県ボクシング連盟
9月17日(土)	カヌー(スプリント)	福島県カヌー協会
9月24日(土)	体操 (器械体操)	福島県体操協会
10月10日(月)	テニスⅠ	福島県テニス協会
10月16日(日)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟
10月22日(土)	相撲	福島県相撲連盟
10月23日(日)	フェンシング	福島県フェンシング協会
10月29日(土)	銃剣道	福島県銃剣道連盟
11月 3日(木)	ソフトテニス	福島県ソフトテニス連盟
11月 3日(木)午前 11月 3日(木)午後	体操(トランポリン)	福島県体操協会
11月 3日(木)	テニスⅡ	福島県テニス協会
11月 5日(土)午前 11月 5日(土)午後	スケート	福島県スケート連盟



アイスホッケー



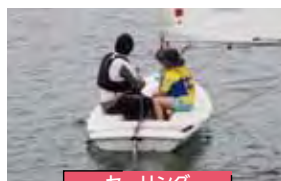
カヌー スプリント



カヌー スラローム



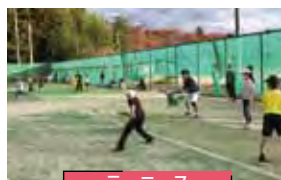
スケート



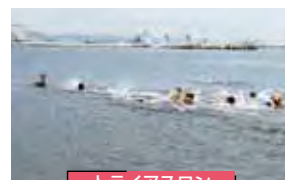
セーリング



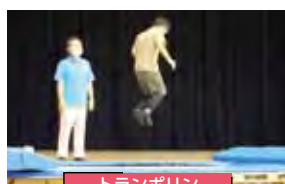
ソフトテニス



テニス



トライアスロン



トランポリン



フェンシング



ボクシング



ライフル射撃



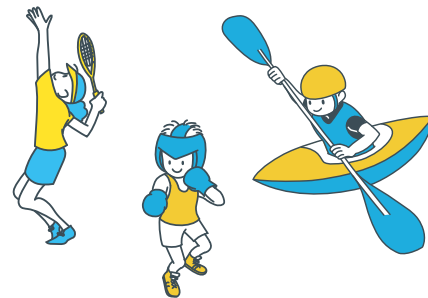
銃剣道



相撲



体操



## 第3ステージ ジュニアサポートプログラム

第3ステージジュニアサポートプログラムは一部の活動を中止としましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施しながら3回のプログラムを実施しました。令和3年度までに選考された中学1～3年生までのジュニア18名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。

日程	種目	主管団体	
9月 4日(日)	開始式	県スポ協(外部指導者招聘)	福島市
	スポーツメンタルトレーニング1 ストレッチング		
10月16日(日)	コーディネーショントレーニング	県スポ協(外部指導者招聘)	福島市
12月18日(日)	スポーツメンタルトレーニング2	県スポ協(外部指導者招聘)	福島市
	スポーツ医学 保護者向け栄養学 修了式		



開始式



ストレッチング



メンタルトレーニング1



コーディネーション



スポーツ医学



メンタルトレーニング2



修了式

# （スポーツふくしまビルドアッププロジェクト）

## ふくしまシャイニングスタープロジェクト

将来、全国大会や国際大会での活躍を希望する中学生に対し、オリンピック選手輩出実績のある競技の実践等を通じて未来のトップアスリートを育成することを目的とし、今年度は「ウエイトリフティング競技」と「自転車競技」の2競技で実施されました。

### ウエイトリフティング競技

令和4年10月15日(土)に福島明成高校・田村高校を会場として開催されました。発掘テストの結果、6名が選考され、11月から大会見学や競技体験などを行いました。参加者は競技を間近で見学したり、トレーニングで汗を流したりしながら、競技の魅力を存分に味わいました。ふくしまの「シャイニングスター」たちの活躍が楽しみです。



### 自転車競技

令和4年12月26日(月)に泉崎村農業者トレーニングセンターを会場として開催されました。21名の中学生が参加し、体力測定等の発掘テストを行いました。発掘テストの結果、9名が選考され、1月の強化練習会に参加します。発掘テストに参加したほとんどの中学生が、高校生になってから本格的に自転車競技を始めたいという強い意志があり、今後の活躍が非常に楽しみです。これからの活躍を期待しています。



## リーディングコーチ養成事業

本県選手が優れた指導を受けられる環境整備を図るため、指導者を対象とした競技力向上とスポーツインテグリティに係る研修会を実施しました。

### リーディングコーチ養成研修Ⅰ

令和4年6月30日(木)13:30よりリモート形式で行いました。東海大学教授の勝田隆先生をお迎えし、『新たな時代におけるコーチングについて考える～大切なものは「間」にある～』との演題で御講義をいただきました。県スポーツ協会が指定する競技団体より推薦されたリーディングコーチ14名に御出席いただきました。

### リーディングコーチ養成研修Ⅱ 兼 福島県スポーツ協会指導者研修

令和4年11月22日(火)13:15よりリモート形式で行いました。JADA 公認スポーツファーマシストの佐藤善嗣先生からは「アンチ・ドーピングについて知っておくべきこと～アスリートの責務と権利並びにサポートスタッフの役割と責務～」との演題で御講義いただきました。また、日本スポーツ法学会弁護士の山田尚史先生からは「スポーツ指導の留意点～事故予防と暴力・パワハラ根絶の観点から～」との演題で御講義をいただきました。リーディングコーチ14名と各競技団体の指導者24名の計38名に御出席いただきました。

### リーディングコーチ養成研修Ⅲ

令和5年2月9日(木)13:30よりふくしま中町会館にて参集形式で行いました。会津大学准教授の沖和砂先生をお迎えし、『福島県のコーチに求められるマネジメント力』との演題で御講義をいただきました。リーディングコーチ13名に御出席いただきました。





# ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と連携を図りながら、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け取り組むことにより、ゴルフ振興を通じた地域活性化を図ることを目的とした事業です。JLPGAの栗西鈴香氏をスペシャルコーチとして招聘し、「高校ゴルフ出前講座」、「スナッグゴルフ教室」、「ジュニアゴルフ塾」、「指導者養成事業」を実施しました。

## 高校ゴルフ出前講座

令和4年度実施校：福島県立安達高等学校、福島県立田村高等学校、福島県立光南高等学校、福島県立川口高等学校

高校生を対象に授業の一環として出前講座を実施して、ゴルフに触れる機会を創出し裾野拡大と技術力の向上に取り組みました。実施校の生徒達は、学校での基本練習、ゴルフ練習場での打球練習、ゴルフ場でのラウンド実習を通して技術を身に付けるとともに、ゴルフ競技を行う上で大切なマナーを学ぶこともできました。



## スナッグゴルフ教室

子どもたち・高齢者等あらゆる世代（小学校、放課後児童クラブ、総合型地域スポーツクラブ等）を対象にゴルフにふれあう機会の創出を目的として、スナッグゴルフ教室を開催しました。

令和4年度実施団体：西郷村立川谷小学校、本宮市放課後子ども教室（遊友クラブ）



## ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生、中学生を対象に、ジュニア期からのゴルフの競技力向上を図り、小学校から中学校、高等学校へとつながる人材を育成して本県から優秀なゴルファーを輩出することを目的に実施しました。令和4年度は、県南管内の小学生、中学生19名が栗西鈴香コーチよりレッスンを受けました。



## 指導者養成講習会

総合型地域スポーツクラブを対象としたゴルフ指導者の養成を目的とした事業です。ゴルフの指導ができる人材を増やし、あらゆる世代の方々がゴルフに対する興味・関心を深めることで本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図ってまいります。令和4年度は、西郷村の西の郷スポーツクラブで実施をしました。



講義及び実技の様子





令和4年度

# 公益財団法人福島県スポーツ協会 表彰式



令和4年度公益財団法人福島県スポーツ協会表彰式は、令和5年1月11日に福島市のエルティ ウェディング・パーティ エンポリウムにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、須佐喜夫会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された齋藤駿選手（バドミントン競技）より謝辞がありました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰後の懇談会は行わず、名誉会長と会長との記念写真撮影を行いました。

今年度の受賞者は下記のとおりです。(敬称省略)※所属名、学年の表記は大会出場時のものを記載しています。

## スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 波入 一彦 (福島県テニス協会)
- 阿部 良 (福島県スケート連盟)
- 阿部 幸男 (福島県ウエイトリフティング協会)
- 佐藤 亨 (福島県銃剣道連盟)
- 鈴木 満 (福島県アーチェリー協会)
- 森崎 俊紘 (福島県トリアスロン協会)
- 志賀 英信 (福島県グラウンド・ゴルフ協会)
- 中上 徹 (特定非営利活動法人白河市体育協会)
- 馬場 政之 (昭和村体育協会)
- 宇内 長司 (公益財団法人喜多方市体育協会)
- 渡部 栄 (下郷町体育協会)
- 阿部 孝志 (相馬市体育協会)



スポーツ功労賞 森崎 俊紘 氏

## 優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を取った選手及び国際大会に出場した選手

### 陸上競技

- 松本奈菜子 (株式会社東邦銀行)
- 遠藤 日向 (住友電気工業株式会社)
- 亀岡 花凜 (拓殖大学(1年))
- 齋藤 慧丹 (日本大学東北高等学校(3年))
- 今西 亮太 (福島県立茨高等学校(3年))
- 根本 穂波 (日本大学東北高等学校(3年))
- 大谷 介人 (帝京安積高等学校(3年))
- 曲山 純平 (日本大学東北高等学校(2年))
- 小野 大輝 (日本大学東北高等学校(1年))
- 増子 陽太 (鏡石町立鏡石中学校(3年))



優秀選手賞(個人) 増子 陽太 選手

- 栗村 凌 (会津若松市立第四中学校(3年))

### ソフトテニス

- 大武 夢菜 (須賀川市立西袋第一小学校(6年))
- 大武 姫菜 (須賀川市立西袋第一小学校(6年))

### 卓球

- 岩永 宜久 (早稲田大学(4年))

### ボート

- 堂山菜々実 (中央大学(4年))
- 神 杏奈 (中央大学(3年))

### 水泳

- 寺田 拓末 (ミキハウス)
- 西川 炎歩 (日本大学東北高等学校(2年) 郡山ダイビングクラブ)
- 渡部 竣也 (郡山立郡山第一中学校(3年) 郡山スウィンスイミングスクール)
- 今野 介人 (郡山立富田中学校(1年) 郡山ダイビングクラブ)

### 自転車競技

- 窪木 一茂 (日本競輪選手会福島支部)
- 中村 龍吉 (中央大学(4年))
- 福地 猛 (明治大学(4年))
- 三神 遼矢 (日本大学(3年))
- 邊見 竜馬 (日本大学(3年))

- 吉田 唯斗 (明治大学(1年))
- 山崎 歩夢 (福島県立平工業高等学校(3年))
- 高木 海安 (福島県立平工業高等学校(3年))
- 大井川 良生 (福島県立平工業高等学校(3年))
- 大関 奏音 (福島県立会津工業高等学校(3年))
- 福田 悠航 (学校法人石川高等学校(2年))
- 榊枝 天旺 (学校法人石川高等学校(1年))

### バドミントン

- 齋藤 駿 (福島県立ふたば未来学園高等学校(3年))
- 岩野 滉也 (福島県立ふたば未来学園高等学校(3年))
- 崎野 翔太 (福島県立ふたば未来学園高等学校(3年))
- 谷岡 大后 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))
- 山北 奈緒 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))
- 須藤 海妃 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))
- 松川 健大 (福島県立ふたば未来学園高等学校(1年))
- 川野 寿真 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))
- 世古 奏 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))
- 芳賀 彪汰 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))
- 増田 遥 (福島県立ふたば未来学園中学校(2年))
- 山城 政人 (福島県立ふたば未来学園中学校(2年))

### 柔道

- 杉山 海 (東海大学(4年))
- 瀧澤 秀斗 (東海大学(4年))
- 鈴木 直登 (東海大学(3年))

### 弓道

- 渡邊 英史 (福島県弓道連盟)
- 高井 幸子 (福島県弓道連盟)

### スキー

- 星野 純子 (チームリステル)
- 西沢 岳人 (早稲田大学(4年))

### ウエイトリフティング

- 今野 金哉 (県警クラブ)
- 高野 滋 (福島県ウエイトリフティング協会)
- 大内 俊幸 (有限会社丸中建設)
- 清野 裕司 (福島県立福島明成高等学校)
- 近内 三孝 (日本大学)
- 穴戸 大輔 (日本大学)
- 遠藤 朱李 (仙台大学(4年))
- 安藤 千鈴 (東京国際大学(4年))

- 福田 智里 (金沢学院大学(4年))
- 遠藤 梨李 (東京国際大学(3年))
- 柳沼 麻綾 (金沢学院大学(3年))
- 君島 一成 (日本大学(2年))
- 本間 愛梨 (平成国際大学(2年))
- 浪越晴太郎 (福島県立福島工業高等学校(3年))
- 大内 大輔 (福島県立田村高等学校(3年))
- 荒木 仁志 (福島県立田村高等学校(3年))

### レスリング

- 榊 流斗 (山梨学院大学(4年))
- 大桃 遥望 (神奈川大学(1年))
- 稲葉 広人 (福島県立ふたば未来学園中学校(1年))
- 保坂 樹奈 (福島県立ふたば未来学園中学校(1年))

### フェンシング

- 酒井 祐理 (福島大学附属小学校(6年) 川俣町フェンシングスポーツ少年団)
- 佐藤 柚希 (川俣町立川俣小学校(6年) 川俣町フェンシングスポーツ少年団)
- 大澤 与朗 (福島市立平石小学校(6年) 川俣町フェンシングスポーツ少年団)

### 空手道

- 大竹 良介 (尚志高等学校(3年))

### なぎなた

- 齋藤 侃駿 (福島県立会津学鳳中学校(3年))
- 鈴木 涼翔 (会津若松市立第二中学校(3年))
- 三瓶 友菜 (会津若松市立第四中学校(3年))
- 長嶋 凜 (会津若松市立第四中学校(3年))
- 塚原 彩 (福島県立会津学鳳中学校(3年))
- 佐野 橘華 (福島県立会津学鳳中学校(3年))
- 森 愛実 (会津若松市立一箕中学校(3年))
- 竹村 優温 (会津若松市立一箕中学校(3年))
- 安部ひより (会津若松市立第二中学校(3年))
- 金城 萌菜 (会津若松市立第二中学校(3年))
- 関口 愛理 (会津若松市立第四中学校(3年))
- 高倉 可蓮 (会津若松市立第四中学校(3年))

### ボウリング

- 鈴木 英子 (日立Astemo株式会社福島工場)

### カー

- 青木 瑞樹 (自衛隊体育学校)
- 小山田香貴 (立命館大学(2年))
- 青木 悠生 (二本松市立二本松第一中学校(3年))
- 安斎 煌生 (二本松市立二本松第一中学校(3年))



- 安齋 勇真(二本松市立二本松第一中学校(3年))
- 下条 凜空(二本松市立二本松第一中学校(3年))
- 島村丸之亮(二本松市立東和小学校(5年))

パワーリフティング

- 山本奈津子(MBP)

トライアスロン

- 齋藤 柁凜(福島県立福島西高等学校(2年))

パウンドテニス

- 加藤 夕奈(伊達地方パウンドテニス協会)
- 清川めぐみ(いわき市パウンドテニス協会)

スポーツチャンバラ

- 間弓 蓮士(明向館道場)
- 佐藤 慈貴(明向館道場)
- 横田 淳(明向館道場)

福島県高等学校体育連盟

- 先崎 遥(東日本国際大学附属昌平高等学校(3年))
- 佐藤真那斗(東日本国際大学附属昌平高等学校(3年))
- (公財)福島県障がい者スポーツ協会
- 鈴木 猛史(KYB株式会社)
- 原田 紀香(株式会社セールスフォース・ジャパン)
- 藤原 哲(株式会社コロンビアスポーツウェアジャパン)
- 佐々木真菜(株式会社東邦銀行)

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

陸上競技

- 第70回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR 東邦銀行
- 令和3年度全国中学校体育大会 駅伝競走 男子の部
- 第29回全国中学校駅伝大会 会津美里町立高田中学校

ソフトテニス

- 第39回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 女子団体戦 福島県女子選抜チーム



優秀選手賞(団体)ソフトテニス福島県女子選抜チーム(代表 関 彩花 選手)

卓球

- 第41回全日本クラブ卓球選手権大会 女子小・中学生の部 富久山卓球クラブ

バドミントン

- 第77回国民体育大会 バドミントン競技 少年男子 福島県
- 令和4年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会
- 第73回全国高等学校バドミントン選手権大会 学校対抗(団体戦) 女子 ふたば未来学園高等学校
- 令和3年度第50回記念全国高等学校選抜バドミントン大会 男子学校対抗 ふたば未来学園高等学校
- 令和3年度第50回記念全国高等学校選抜バドミントン大会 女子学校対抗 ふたば未来学園高等学校
- 令和4年度全国中学校体育大会 第52回全国中学校バドミントン大会 学校対抗(団体戦) 男子 ふたば未来学園中学校
- 令和3年度第22回全日本中学生バドミントン選手権大会 都道府県対抗団体戦 福島県

弓道

- 第77回国民体育大会 弓道競技 少年女子 遠的競技 福島県

ウエイトリフティング

- 第69回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会 学校対抗 田村高等学校

なぎなた

- JOCジュニアオリンピックカップ第30回全国中学生なぎなた大会 試合競技 団体の部 会津なぎなた連盟

福島県高等学校体育連盟

- 第57回全国高等学校定時制通信制バスケットボール大会 女子 郡山萌世高等学校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

陸上競技

- 吉田真希子 株式会社東邦銀行
- 高橋 直之 日本大学東北高等学校

陸上競技



優秀指導者賞 高橋 直之 氏

陸上競技

- 角田 一昭 会津美里町立高田中学校

ソフトテニス

- 柳沼 仁 二本松ジュニア

卓球

- 深谷 秀三 富久山卓球クラブ

水泳

- 西川 友章 福島県立郡山商業高等学校 郡山ダイビングクラブ

バドミントン

- 齋藤 巨 福島県立ふたば未来学園中学校

バドミントン

- 本多 裕樹 福島県立ふたば未来学園高等学校

バドミントン

- 大久保菜摘 福島県立ふたば未来学園高等学校

弓道

- 松浦 健人 福島県立橘高等学校

ウエイトリフティング

- 小野寺浩亀 福島県立田村高等学校

ウエイトリフティング

- 鈴木 宗徹 福島県立福島明成高等学校

ウエイトリフティング

- 渡部 靖 福島県立福島工業高等学校

フェンシング

- 秦 秀行 川俣町立川俣小学校

なぎなた

- 足立 美香 福島県立会津学鳳高等学校

スポーツチャンバラ

- 中東 仁 明向館道場

バスケットボール

- 宗形 秀夫 福島県立郡山萌世高等学校

社会体育優良団体賞 地域・職種のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 東邦銀行陸上競技部



社会体育優良団体賞 東邦銀行陸上競技部(代表 吉田 真希子 氏)



特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人およびその指導者

自転車競技

- 窪木 一茂 日本競輪選手会福島支部

バドミントン

- 齋藤 駿 福島県立ふたば未来学園高等学校(3年)

バドミントン

- 岩野 滉也 福島県立ふたば未来学園高等学校(3年)

バドミントン

- 谷岡 大后 福島県立ふたば未来学園高等学校(2年)

バドミントン

- 山北 奈緒 福島県立ふたば未来学園高等学校(2年)

アルペンスキー

- 鈴木 猛史 KYB株式会社

アルペンスキー

- 原田 紀香 株式会社セールスフォース・ジャパン

陸上競技

- 川本 和久 (元)東邦銀行陸上競技部監督 (元)福島大学陸上競技部監督



特別賞 齋藤 駿 選手



特別賞 原田 紀香 選手



特別賞 川本 和久 氏(川本 容子 氏)





# 親子体操教室・指導者養成講習会

in郡山市

令和4年10月23日(日)、郡山市の西部体育館において、「体操のお兄さん」こと佐藤弘道氏を講師にお迎えし、幼児期運動啓発事業「親子体操教室&指導者養成講習会」を開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症による県の緊急事態宣言のため中止となりましたが、今年度は感染防止対策を講じながら2年ぶりに開催することができました。



ひろみちお兄さんと一緒に楽しもう!

## 親子体操教室

午前の部の親子体操教室には、57組157名の親子が参加しました。音楽に合わせて元気いっぱい、親子で微笑みながら活動する姿があり、あっという間の1時間でした。

午後には運動会に活用できるたくさんのプログラムで指導者の方々が楽しく体を動かしました。



元気に楽しく体を動かして  
子供の基礎体力作りを学ぼう!

## 指導者養成講習会

午後の部の指導者養成講習会には、幼児教育に関わる指導者や総合型地域スポーツクラブの関係者など27名が参加しました。





# スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や競技者のけが・病気に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的としています。依頼により、相談員・講師を派遣します。※申込み詳細はHPをご覧ください。



## 相談員・講師

本協会スポーツ医・科学委員  
 スポーツドクター部会員  
 アスレティックトレーナー部会員  
 スポーツ栄養士部会員  
 その他、スポーツ医科学委員が認めた講師

令和4年度講師派遣状況：計46件  
 (利用者延べ1273名)

## 講師派遣の内容例

- 講義
- スポーツ外傷・障害の基礎知識
  - スポーツと栄養
  - アンチ・ドーピング
  - 女性に対するスポーツ指導
  - けがの応急手当 など
- 実技
- ストレッチ
  - スポーツテーピング
  - ウォーミングアップ、クールダウン
  - スポーツマッサージ・筋力トレーニングなど

### 体幹トレーニング講習会



### ウォーミングアップ講習会



### スポーツと栄養講習会



### アンチ・ドーピング研修会



アンチ・ドーピング教育・啓発活動では、競技者をはじめスポーツに関わる全ての人に、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発することを目的として、福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもと啓発活動を実施しています。

活動の詳細はHPをご覧ください。





# スポーツ指導者養成講習会

日本スポーツ協会及び加盟団体等では、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となる指導者を養成しており、年齢(発育発達段階)や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し5領域17種類の資格を設け、多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成しています。

## 公認スポーツ指導者資格の種類

### ①スポーツ指導者基礎資格

- コーチングアシスタント
- (● スポーツリーダー)

### ③メディカル・コンディショニング資格

- スポーツドクター
- スポーツデンティスト
- アスレティックトレーナー
- スポーツ栄養士

### ⑤マネジメント指導者資格

- アシスタントマネジャー
- クラブマネジャー

### ②競技別指導者資格

- スタートコーチ
- コーチ1(旧 指導員)
- コーチ2(旧 上級指導員)
- コーチ3(旧 コーチ)
- コーチ4(旧 上級コーチ)
- 教師
- 上級教師

### ④フィットネス資格

- フィットネストレーナー
- スポーツプログラマー
- ジュニアスポーツ指導員

## 「公認スポーツ指導者」だからこそ、できる



上記の資格のうち、本協会では、生涯スポーツ係でコーチ1・コーチ2・スポーツドクター・アスレティックトレーナーの資格取得に関すること、ふくしま広域スポーツセンターでアシスタントマネージャー養成講習会の運営(今年度は集合講習会を実施)、スポーツ少年団でスタートコーチ養成講習会の運営(今年度はオンライン講習会を実施)を行っています。

	競技名	開催期日	受講者数	会場
コーチ1(専門科目)	山岳	①7月3日 ②11月12日~13日 ③令和5年1月14~15日	3名	大玉村コテージ 那須甲子自然の家
	ソフトボール	①12月3日~4日	42名	郡山市開成山野球場
	バレーボール	①9月23日~25日	34名	郡山北工業高等学校
	水泳	①7月10日 ②9月4日 ③10月2日	16名	本宮市民プール 本宮第一中学校体育館
	バドミントン	①10月22日~23日 ②10月30日	6名	尚志高等学校
コーチ2	卓球(専門科目)	①11月12日~13日	28名	会津若松市ふれあい体育館・ホテルニューパレス
	共通科目Ⅱ	①12月10日~11日	32名	郡山市ユラックス熱海

競技別指導者資格においては、各競技団体との連携のもとに令和4年度は上記の7競技で養成講習会を開催しました。



受講者の方々はいずれも高い志を持ち、真剣かつ楽しみながら積極的に活動し、自己の指導力の向上に繋げるべく実技や講義に取り組んでいました。ぜひ、専門科目と共通科目の両方を合格され、来年度の10月から資格取得者として、これからより幅広く社会に貢献できる地域のスポーツ指導者として活躍されることを期待しています。



## 〔 令和5年度公益財団法人日本スポーツ協会公認 コーチ1・コーチ2養成講習会について 〕

令和5年度に本県で開催を予定しているのは、以下のとおりです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに令和5年5月上旬に掲載予定です。

コーチ1(9競技)：山岳・水泳・弓道・なぎなた・軟式野球・ソフトボール・スポーツクライミング・テニス・ハンドボール

コーチ2(1競技) 専門種目：テニス 共通科目Ⅱ：集合講習会

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得に関する申込手続きや情報提供等は日本スポーツ協会「[指導者マイページ](#)」に掲載されています。これから新たに指導者資格の取得を目指す方はもちろん、既に指導者資格をお持ちの方もぜひ日本スポーツ協会「[指導者マイページ](#)」の登録をお願いします。指導者マイページを利用すると、本県で開催される講習会以外にも全国各地で行われている講習会情報の取得や申込みが可能です。(登録方法は、本協会ホームページでも紹介しています。)



指導者マイページ(日本スポーツ協会)について  
(<https://www.sports-fukushima.or.jp/coach/>)





# 福島県スポーツ指導者研修会

(更新研修会)

福島県スポーツ指導者協議会では、スポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年2回のスポーツ指導者研修会（更新研修会）を実施しており、今年度も下記のとおり開催しました。

- 開催日** 第1回 令和4年11月13日(日) 第2回 令和4年12月11日(日)
- 場所** 郡山ユラックス熱海
- 参加者** 第1回 146名 第2回 127名
- 内容** 講義Ⅰ「プレイヤーズセンタードなコーチングについて」  
講義Ⅱ「指導者に必要なコミュニケーションスキルとLGBTQなど多様性に応じた指導のあり方について」
- 講師** 足利短期大学こども学科准教授 小野 寛久氏  
会津大学短期大学部講師 渡部 琢也氏  
会津大学文化研究センター 准教授(博士) 沖 和砂氏



講師 小野 寛久氏



講師 沖 和砂氏



講師 渡部 琢也氏

## 令和5年度の講習会受講にあたって

本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修にあたります。公認スポーツ指導者資格の有効期間は4年間と定められており、資格を更新するためには有効期限の6か月前までに所定（競技によって異なる。）の更新研修を受けることが義務付けられています。自身の資格の競技名や有効期限等を御確認いただき、対象競技の方はぜひ受講を御検討ください。（更新対象外競技の方も受講できますが、資格の更新にはなりませんので注意してください。）令和5年度の開催予定は下記のとおりです。

- 開催予定日** 第1回 令和5年11月26日(日) 第2回 令和5年12月17日(日)
- 場所** 郡山ユラックス熱海
- 申込み方法** 令和5年の6月下旬を目安に、本協会ホームページに実施要項を掲載します。そちらを御確認いただき、次の①～③のいずれかの方法でお申込みください。なお、①の指導者マイページからの申込を原則とし、それが困難な場合は②または③の方法でお申込みください。
  - ①インターネットサービス「指導者マイページ (https://my.japan-sports.or.jp/login)」のアカウント 登録手続きを行い、指導者マイページから本講習会の申込手続きを行う。指導者マイページの登録方法については、公益財団法人福島県スポーツ協会ウェブサイトを参照する。【福島県スポーツ協会→スポーツ指導者→指導者マイページ (日本スポーツ協会) について】で検索
  - ②FAXで申込む。FAX番号：024-938-7649
  - ③E-mailで申込む。送信先：shidoukyo.fuku12@ae.auone-net.jp
 ※②③については様式自由で下記の必要事項を記入の上、期日までにお申込み下さい。
  - 福島県スポーツ指導者協議会事務局宛 (担当 塩田) ○郵便番号・住所・電話番号
  - 氏名 ○登録番号 ○資格・競技名

本研修会以外の更新研修会の情報については日本スポーツ協会ホームページをご覧ください。  
・資格更新のための研修 - スポーツ指導者 - JSPO (https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid238.html)





# スポーツ指導者資格関連情報

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う2023年10月1日付更新登録に関する取り扱いについて

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日本スポーツ協会より特例措置が出されております。該当する方は日本スポーツ協会のホームページを御確認ください。



※下記は日本スポーツ協会 HP から抜粋

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の有効期間は、資格登録後4年間であり、資格を更新するためには、資格有効期限の6か月前までに、日本スポーツ協会あるいは当該中央競技団体等の定める研修会を最低1回受けることが必要です。

しかしながら、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により更新研修の開催が中止、あるいは受講が難しい状況が続いています。そのため、特例として、来年2023年10月1日付の更新登録・再登録においても、所定の更新研修の受講状況に関わらず、2023年10月1日付の登録手続きの対象といたします。ただし、一部の資格・競技は対象外となり、所定の更新研修の受講が必要となりますので、詳細はHPからご確認ください。

なお、現時点で本特例の対象となる方におかれましても、可能な限り受講期限となる2023年3月末までに更新研修を受講いただくようお願いいたします。更新研修は、開催時期や地域によっては集合形態で開催されている他、オンライン形態でも開催されています。

また、2023年3月末までに更新研修を受講できずに更新登録される場合でも、2023年4月以降、義務とはしませんが、積極的に未受講分の研修受講をお願いいたします。

※2024年4月1日付以降における取り扱いについては、現段階では未定となっております。

## 今後の手続き

特例の対象となる場合でも、追加でお願いする手続きはございませんので、通常の登録手続きを行ってください。

### スケジュール

- 2023年7月下旬～7月上旬に更新登録手続きのご案内を郵送にて（指導者マイページを保有している方にはメールでも）お送りいたします。
  - 2023年9月30日までに手続き（登録料の入金等）を完了してください。
  - 2023年10月1日から資格が更新（再登録）され、後日、希望者には登録証（・認定証）をお送りします。
- 詳細は、ホームページをご確認ください。

※対象外の資格・競技について

### 【対象外の資格・競技の一覧】

競技別指導者資格 [水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビック（コーチ4のみ）、チアリーディング（コーチ3のみ）、スクーバ・ダイビング、プロテニス、プロスキー]  
スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー

詳細は、こちら [新型コロナウイルス感染症の影響に伴う2023年10月1日付更新登録に関する取り扱いについて](#)

スポーツ指導者に関するお知らせ - JSPO

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid884.html?itemid=4628>



令和  
4年度

# 福島県スポーツ協会認定 スポーツ栄養士スキルアップ講習会

この講習会は、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師、スポーツ愛好者や競技スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートを担当する県協認定スポーツ栄養士のスキル向上を図ることを目的としており、県内各地から本協会の認定スポーツ栄養士18名の皆様が集まりました。

**日程・場所** 令和4年7月10日(日曜日)、福島県青少年会館

**講師・テーマ** (1)山口明子氏(福島県立医科大学 産科・婦人科学講座 講師)

講義①:「成長期における女性のスポーツ障害と栄養について」

(2)阿部 仁氏(福島県スポーツ課指導主事)

講義②:「スポーツの現場から(陸上競技・ハンドボール競技)～スポーツ栄養士に期待すること～」

(3)情報交換会



あいさつ: 中村啓子 部会長



講義Ⅰ: 山口明子氏



講義Ⅱ: 阿部 仁氏

## 内 容

講習会では、はじめに本協会認定スポーツ栄養士部会長の中村啓子氏からあいさつがあり、山崎副部会長から講習会の趣旨説明と今年度の新部会員の紹介をしていただきました。

その後、午前中は、福島県立医科大学 産科・婦人科学講座所属の山口明子氏から「成長期における女性のスポーツ障害と栄養について」の講義①をいただき、午後は、福島県スポーツ課指導主事の阿部仁氏から「スポーツの現場から(陸上競技・ハンドボール競技)～スポーツ栄養士に期待すること～」をテーマにした講義②を行いました。さらには、スポーツ医事・トレーニング相談事業の講師派遣に向けた資料づくりや地区のネットワーク構築に向けた情報交換会を行いました。

受講後には、「産科婦人科診療ガイドラインなどの新しい情報も含め、女性アスリートの成長期における障害と栄養の関係性について深く学べて大変勉強になった。」「スポーツ指導者の悩みや大変さ、栄養士が選手・指導者から求められていることについて知れて良かった。」「日頃の悩みや課題について協議できて大変良かった。医事トレ講師として頑張りたい。」といった感想がありました。

受講者の皆様には、本講習会での学びを生かし、コロナ禍においても自身ができるサポート活動について主体的に考えながら、それぞれの現場でより一層御活躍されるとともに、本県スポーツの発展に力を発揮していただければと思います。





令和  
4年度

# 公益財団法人福島県スポーツ協会認定 アスレティックトレーナー養成講習会

この講習会は、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する福島県スポーツ協会認定アスレティックトレーナーを養成することを目的として、隔年で開催しています。

## カリキュラム

### 1 基礎科目(個人学習)

- ア 公益財団法人日本スポーツ協会公認指導者養成講習会「コーチングアシスタント」
- イ 救急法講習

### 2 専門科目(集合講習会)

堀川 哲男氏



渡邊 和之氏



嶋原 智彦氏



## 1日目 11月26日(土) 福島県青少年会館

- (1)堀川 哲男氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員長)  
「アスレティックトレーナーの役割」
- (2)堀川 哲男氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員長)  
「安全・健康管理とスポーツ外傷・障害の予防」
- (3)渡邊 和之氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)  
「人体の解剖と機能」
- (4)鬼澤 武則氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)  
「コンディショニング実技」

## 2日目 11月27日(日) 福島県青少年会館

- (5)嶋原 智彦氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)  
「検査・測定と評価」
- (6)吉田 勝浩氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)  
「リコンディショニング実技」
- (7)水野 兼志氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)  
「スポーツ医学概論」
- (8)中澤 謙氏 (県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)  
「スポーツ科学概論」

本年度、集合講習会には16名が参加しました。受講者は年度内に基礎科目も修了することで福島県スポーツ協会アスレティックトレーナーに認定となります。今後、アスレティックトレーナー部会の活動やスポーツ医事・トレーニング相談事業、各種研修会等、本県の競技力向上や生涯スポーツの振興事業等で御活躍いただきたいと思います。

## 集合講習会の様子



が設立されました!!

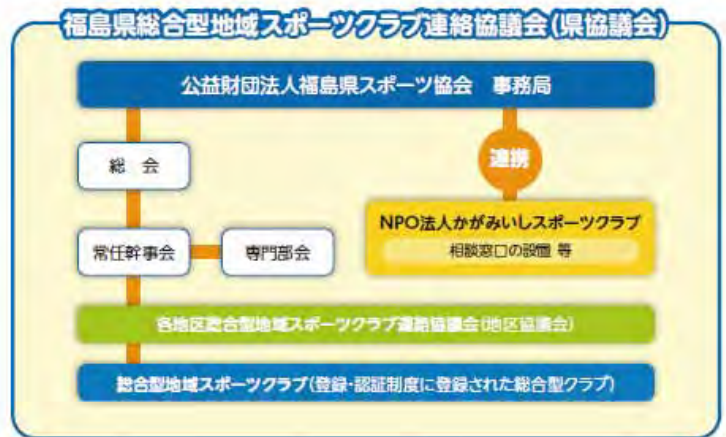
# 「福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」

## 福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会とは

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（県協議会）は、県内で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

福島県で設立されている78の総合型クラブの内、登録・認証制度に登録された43の総合型クラブによって構成されています。

県協議会は、地域区分ごとに地区連絡協議会が結成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。



公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会

### 令和4・5年度 県内総合型地域スポーツクラブ 予備登録クラブ一覧

No	クラブ名	市区町村	No	クラブ名	市区町村
1	一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブ	二本松市	23	謹教スポーツクラブ	会津若松市
2	東和さわやかスポーツクラブ	二本松市	24	特定非営利活動法人ひめさゆりくらぶ	喜多方市
3	あだちスポーツクラブ	二本松市	25	特定非営利活動法人赤べこトータルスポーツ	柳津町
4	一般社団法人にほんまつ城山クラブ	二本松市	26	きたあいづスポーツクラブ	会津若松市
5	特定非営利活動法人生涯学習プロジェクトもとみや【もとみやスポーツネットワーク】	本宮市	27	特定非営利活動法人会津美里クラブ衆	会津美里町
6	岳クラブ	二本松市	28	やまとスポーツクラブ	喜多方市
7	NPO法人かわまたスポーツクラブ	川俣町	29	特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ	只見町
8	弥平塾スポーツクラブ	伊達市	30	太田大麩スポーツクラブ	南相馬市
9	特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ	玉川村	31	NPO法人そうま中央スポーツクラブ	相馬市
10	滝根いきいきクラブ	田村市	32	一般社団法人榎葉町スポーツ協会	榎葉町
11	ひらたスポーツクラブ	平田村	33	公益社団法人富岡町さくら文化・スポーツ振興公社	富岡町
12	特定非営利活動法人かがみいしスポーツクラブ	鏡石町	34	いいたてスポーツクラブ	飯館村
13	Vivakidsスポーツクラブ	郡山市	35	NPO法人はらまちクラブ	南相馬市
14	総合型地域スポーツクラブ「仲間」	白河市	36	浮舟うきうきクラブ	南相馬市
15	特定非営利活動法人はなわスポーツクラブ	塙町	37	特定非営利活動法人かしま元気スポーツクラブ	南相馬市
16	21' スポーツクラブinしらかわ	白河市	38	NPO法人広野みかんクラブ	広野町
17	NPO法人西の郷スポーツクラブ	西郷村	39	特定非営利活動法人いわきクラブ	いわき市
18	特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ	鮫川村	40	泉クラブ	いわき市
19	矢吹スポーツクラブ	矢吹町	41	認定 NPO法人いわきFスポーツクラブ	いわき市
20	棚倉スポーツクラブ	棚倉町	42	特定非営利活動法人いわき・あいスポねっと	いわき市
21	特定非営利活動法人チーム青い空	白河市	43	総合型地域スポーツクラブ Teco	いわき市
22	特定非営利活動法人スポーツクラブバンビィ	会津坂下町			

※地区ごと、設立年度順に掲載

(公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録規程に基づき、令和4・5年度は予備登録クラブとなります。)



# 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度スタート!!

(令和4年4月1日)

## 概要

総合型クラブが、より公益性の高い「社会的な仕組み」として、永続的に充実した活動を行えるよう、第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日文科科学大臣策定）に基づき、日本スポーツ協会と都道府県体育・スポーツ協会が関係団体と連携し、整備しました。

この制度は、総合型クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくために、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準としています。

## 登録基準

- ① 多項目（複数種目）のスポーツ活動を実施している。
- ② 多世代（複数世代）を対象としている。
- ③ 適切なスポーツ指導者を配置している。
- ④ 安全管理体制を整備している。
- ⑤ 地域住民が主体的に運営している。
- ⑥ 規約等が意思決定機関の議決により整備され、当該規約等に基づいて運営している。
- ⑦ 事業計画・予算、事業報告・決算が意思決定機関で議決されている。
- ⑧ 地域住民に対して、各種媒体を用いてクラブの活動内容の広報や会員の募集を、年間を通じて常時行っている。（福島県独自基準）

## 登録・認証制度がもたらす効果（好循環イメージ）

### ■総合型クラブへの効果

行政における総合型クラブの認知度が向上することにより、行政が地域住民へ総合型クラブを広報することにつながること等の期待

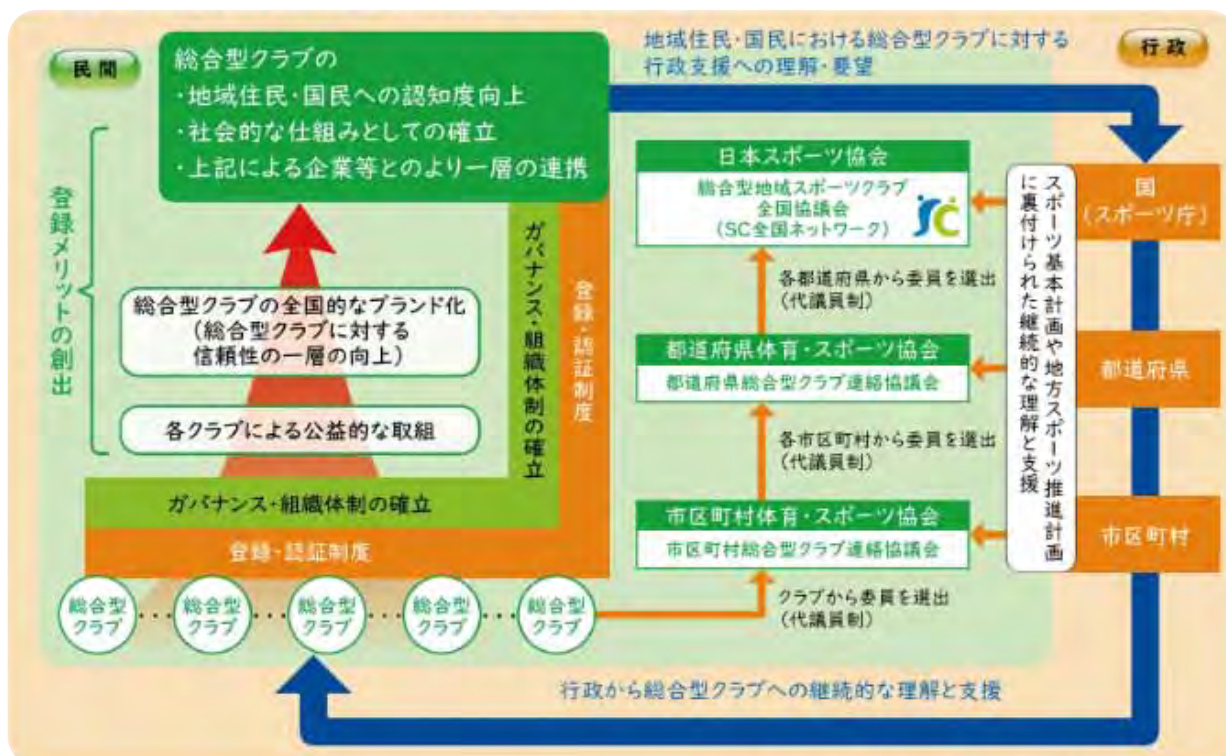
### ■地域住民への効果

総合型クラブが見つげやすくなることや総合型クラブに対する安心感の醸成等の期待

### ■公的機関・関係機関への効果

行政担当者に異動が生じても総合型クラブへの理解が継続されることや行政内のスポーツ担当以外の部局とも情報共有が可能になること等の期待

## 登録・認証制度がもたらす効果（好循環イメージ図）



※日本スポーツ協会にて想定している効果のイメージ図です。

令和4年度

# 福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 交流会事業

## モルック交流会



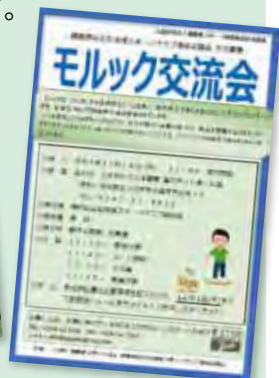
令和4年度の県協議会交流会事業として「モルック交流会」を玉川村のたまかわ文化体育館屋内ゲートボール場で行いました。モルックは、フィンランドの伝統的なゲーム (kyykkä) を元に開発され、子どもから大人まで、男女関係なく楽しめるアウトドアスポーツです。今年度、県北地区連絡協議会でモルック研修会を実施した事をきっかけに県協議会でも交流会を開催することとなりました。最初にモルックのルールを学び、後半には試合を行い、会場は大盛り上がりでした。上手くいてもいなくてもそれぞれのコートで歓声が上がリ、参加者同士が楽しく交流を図ることができました。

### 参加者の声

県協議会として交流会を対面形式で実施するのは約3年振りです。県内12クラブより34名の参加があり、久しぶりに顔を合わせながら交流を図ることができました。

交流会を通して、人と人との関わりの大切さを改めて感じることができました。

今後は自主事業でモルック大会を開催することを計画しています。



### 交流会の様子



福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 (公益財団法人福島県スポーツ協会内 事務局)

〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階

TEL: 024-573-2655 FAX: 024-573-2699

E-mail: sc@sports-fukushima.or.jp HP: <https://www.sports-fukushima.or.jp/koiki/>







# 公認アシスタントマネジャー養成講習会

令和4年度公認アシスタントマネジャー養成講習会を8月27日(土)・28日(日)の両日にわたり、キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)にて実施しました。県内から13名の参加があり、熱心に受講していました。

## アシスタントマネジャーの役割とは…

総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のための諸活動をサポートする。

## 養成講習会カリキュラム

科目	項目	時間数	内容
講 材	基礎I クラブマネジャーの役割	3時間	マネジメントの基本的な考え方と総合型地域スポーツクラブにおいてマネジャーが果たす役割、マネジャーに求められる資質などについて理解します。
	基礎II クラブのつくり方 クラブの運営	3時間	実際に地域スポーツクラブを立ち上げてきた具体的事例を通し、クラブの設立、運営、経営面など一連のクラブ育成のストーリーと実際の経営内容を学びます。
義 情 報	基礎I 地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状	3時間	地域スポーツクラブを取り巻く環境と目指すべきスポーツクラブに関する事業のミッションとビジョンを確認し、その必要性を学びます。
	基礎II クラブの運営 法人資格	2時間	クラブが社会的信用を高め、その事業および組織をより充実させるために有効な法人格の取得について理解し、そのメリット、デメリットについて考えます。
講 話	基礎II ケーススタディ 総合型地域スポーツクラブ マネジャー講話I	1時間 30分	県内の総合型地域スポーツクラブで活躍しているクラブマネジャーから、その活動内容やクラブの課題、運営にあたって留意することなどを学びます。
	基礎II ケーススタディ 総合型地域スポーツクラブ マネジャー講話II	1時間 30分	県内の総合型地域スポーツクラブで活躍しているクラブマネジャーから、その活動内容やクラブの課題、運営にあたって留意することなどを学びます。

1日目は、福島県における総合型地域スポーツクラブの概要やクラブマネジャーの役割、クラブを取り巻く環境の変化等について学びました。2日目はクラブ設立の発展、安定には欠かせない法人格取得について学び、ワークシートを用いたクラブ設立に向けての計画書の作成なども行いました。また、2日目の最後には資格取得のための検定試験も実施しました。



2日間の講習会を通して、地域スポーツに関わる総合型地域スポーツクラブ運営への理解を深めるとともに、県内のスポーツに関わっている方同士の情報交換や様々な団体との連携など、受講者同士や講師陣とのネットワークを形成することができました。受講者の皆様におかれましては、本講習会で学んだことを実際のクラブ運営等に生かしていただくとともに、ぜひとも日本スポーツ協会公認クラブマネジャーの資格取得も目指していただきたいと思います。

## 《 令和4年度福島県スポーツ少年団の登録状況 》



登録団数	指導者数	役員数	スタッフ数	団員数計
919団	3,378名	328名	2,017名	18,042名

◇男子

幼児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
96名	2,710名	6,395名	2,631名	155名	11,987名

◇女子

幼児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
65名	1,459名	3,007名	1,375名	149名	6,055名

## 《 令和4年度福島県スポーツ少年団表彰 》

◇功労者(7名)

No.	支部	氏名	所属団体名
1	県北	熊坂 嘉延	瀬上バレースポーツ少年団
2	県中	五十嵐 浩	小山田富ミニバスケットボールスポーツ少年団
3	県南	芳賀 英雄	白河M B Bスポーツ少年団
4	会津	山口 博庸	河東町スポーツ少年団
5	会津	若林 謙治	城西スイミングスポーツ少年団
6	相双	番場 俊行	大甕サッカースポーツ少年団
7	いわき	鈴木 則男	勿来少年柔道教室スポーツ少年団

◇優良団体(7団体)

No.	支部	団体名(市町村)	
1	県北	月輪スポーツ少年団	(福島市)
2	県北	大森 CAGERスポーツ少年団	(福島市)
3	県中	中郷ソフトボールスポーツ少年団	(三春町)
4	県南	白坂スポーツ少年団	(白河市)
5	相双	原町コスモ体操スポーツ少年団	(南相馬市)
6	いわき	勿来少年柔道教室スポーツ少年団	(いわき市)
7	いわき	内郷柔道塾スポーツ少年団	(いわき市)

## 《 令和4年度日本スポーツ少年団顕彰 》

◇表彰登録指導者(3名)

No.	支部	氏名	所属団体名
1	県北	佐久間 朗	福島市中野地区スポーツ少年団
2	県中	角田 幸一	郡山東剣道スポーツ少年団
3	いわき	鈴木 正幸	クリナップキッズいわきスリングクラブスポーツ少年団

◇感謝状贈呈者(1名)

No.	氏名	前役職
1	星 本文	前 福島県スポーツ少年団本部長

### 第44回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

- ・期 日 令和4年8月4日(木)～7日(日)
- ・会 場 奈良県立橿原公苑野球場他
- ・出場団 小名浜少年野球教室スポーツ少年団



### JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会

- ・期 日 令和4年12月26日(月)～29日(木)
- ・会 場 鹿児島県ふれあいスポーツランド他
- ・出場団 バンディッツいわきジュニア



### 第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会福島県推薦団

- ・期 日 令和5年3月24日(金)～27日(月)
- ・会 場 静岡県エコパアリーナ他
- ・参加団 小名浜西リトルフロッグススポーツ少年団

### 第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会福島県推薦団

- ・期 日 令和5年3月25日(土)～27日(月)
- ・会 場 新潟県立武道館
- ・参加団 鎌田剣道スポーツ少年団



# 《 令和4年度 福島県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール 》



〈県中支部 12/24(土)・25(日) 安積学習センター〉



〈相双支部 10/22(土)・23(日) 広野町中央体育館〉



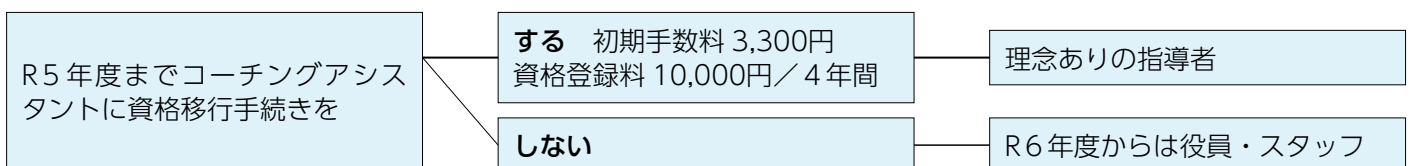
〈いわき支部 8/17(水)-19(金) いわき海浜自然の家〉



〈会津支部 11/26(土)・27(日) 河東公民館〉

## 《 スポーツ少年団指導者の資格について 》

### ①2019年度、認定員として登録されていた方



### ②認定員資格を持っていたが、2019年度に指導者として登録されていなかった方

理念ありの指導者になるには、スタートコーチ(スポーツ少年団)講習会を受講する必要があります。しかし、認定員資格をお持ちだった場合、併せてスポーツリーダーの資格も保有されているので、**令和5年度までは理念なしの指導者**として登録できます。

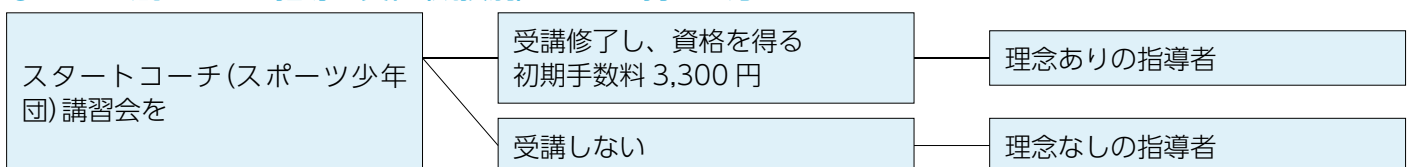
### ③2019年度認定員または認定育成員として登録していて、かつJSPO公認スポーツ指導者(競技別)をお持ちの方資格

資格を継続して保有していれば、理念ありの指導者として登録できます。  
※資格移行手続きは必要ありません。

### ④2019年度認定員または認定育成員として登録していて、かつサッカー・バスケットボールC級以上をお持ちの方

資格を継続して保有していれば、理念ありの指導者として登録できます。  
※資格移行手続きは必要ありません。

### ⑤JSPO公認スポーツ指導者資格(競技別)のみをお持ちの方



# チャリティー情報

## チャリティーゴルフコンペを開催しました！

**開催趣旨** ゴルフをとおして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

**主催** 公益財団法人福島県スポーツ協会

**後援** 福島県ゴルフ連盟

**期日** 令和4年11月23日(水・祝日)

**会場** 郡山ゴルフ倶楽部

**参加人数** 30名



## チャリティーボウリングを開催しました！

**趣旨** ボウリングをとおして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

**主催** 公益財団法人福島県スポーツ協会

**主管** 福島県ボウリング連盟

**期日** 令和5年2月25日(土)

**会場** 福島オークラボウル

**参加人数** 44名



## チャリティーポロシャツを販売しています！

本協会では、「スポーツと未来へ ふくしまプライド」のスローガンのもと、令和4年度は2種類の「チャリティーポロシャツ」を作成しています。(令和5年度はポロシャツのカラーを**26種類**に増やす予定です！)

このチャリティーポロシャツは、個人・団体を問わずどなたでも購入できます。ぜひ一人でも多くの方にこのポロシャツを着ていただき、一体感を高め、福島県のスポーツを盛り上げていければ幸いです。チーム名や校章・マーク等の刺繍もできますので、大会・練習・イベント・職場など多様な場面でチームポロシャツ等にもぜひ御利用ください。

なお、このポロシャツによる収益は、本協会におけるスポーツ振興事業のための一助とさせていただきます。デザイン・注文等についてはホームページをご覧ください。



福島の誇りを胸に！チャリティーポロシャツ  
(2022NEW モデル：ドライボタндаウンタイプ)





# 公益財団法人福島県スポーツ協会賛助会員名簿

## 《法人・団体 特別会員》

会津商工信用組合 (株) いちい いわき信用組合 (株) インフォメーション・ネットワーク福島 エクセルツリー(株) (株) 岡部 (株) オノヤスポーツ (有) カネチョウ坂本商店 (株) 環境分析研究所 (株) 久野製作所 クリナップ(株) いわき事業所 クリヤマジャパン(株) (株) クリーンテック (特非) J DMA	(医) 須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株) 白河工場 (株) セントラル住設 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) (株) 大東銀行 (株) ダイユーエイト (一財) 竹田健康財団 (株) テレビユー福島 東亜道路工業(株) 福島営業所 東京海上日動あんしん生命保険(株) 東京海上日動火災保険(株) (株) 東邦銀行 東北建設(株)	(株) トヨタレンタリース福島 日本全業工業(株) (株) 二丸屋山口商店 (株) ハニーズホールディングス (株) 福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 (株) 福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株) 福島放送	(一財) ふくしま未来研究会 (株) 福島民報社 福島民友新聞社 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株) マルト (株) 民報印刷 山木工業(株) (株) ヨークベニマル 若松測量設計(株)
---	---	--	---

## 《法人・団体 会員》

(株) 会津技研 (株) アクセラ (株) アスク (有) 吾妻印刷 (株) アプロガス あんしんFPふおあさいと (株) 安藤組 磐城通運(株) (株) ウェディングエルティ 内池醸造(株) (株) 海老名建設 F S G カレッジリーグ (株) エフエム福島 (株) エムケーテック (有) エンドースクリーン (有) 大波商店 (一財) 大原記念財団 小名浜製錬(株) 小名浜製錬所 (株) 加地和組 菅野建設(株) (株) 絹川建設工業 キョウワセキユリオン(株) キング印刷(株) (株) キスキ (株) グラコム (株) クラロン	(株) グレイス福島 (株) クレハ (株) クレハ環境 クレハ建設(株) (株) 幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) さかい動物病院 (株) 佐藤商事 (株) 佐藤信博建築設計事務所 (有) 佐平 (有) 三共印刷所 (株) サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株) 善邦 (福) 創世福祉事業団 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株) 高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウエア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株)	東北索道協会福島地区部会 (株) 東北装美 T&C Lab. 東北電力ネットワーク(株) 福島電力センター (株) 中里工務店 にいの運送(有) 日産プリンス福島販売(株) (株) NIPPO福島統括事業所 (有) 野地建設 原町港湾運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有) 挽野自動車 ファーストヘルステック(株) (株) ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有) フクシマスポーツランド (株) 福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 福島リコピー(株)	(株) 福南電気 (株) フジゴルフガーデン (公財) 藤田教育振興会 (株) 藤野 (有) 古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株) マルコ物流 (株) 丸福織物 (株) 丸や運送 みずの内科クリニック (株) 三宅新聞店 名鉄観光サービス(株) 福島支店 (株) メディア・ネットワーク (株) 本宮会計センター (株) ヤスタ創建 (株) 山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) (株) 友愛 (株) ラジオ福島 (株) ル・プロジェ ワイザーエール(株) ワタナベカーペット(株)
--	--	---	---

※他に匿名希望6法人・団体

## 《個人 特別会員》

壱 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏

## 《個人 会員》

種 本 哲 哉 小笠原 敦 子 齋 藤 久 男 柴 野 夫 永 田 嗣 昭 星 香 里 山 田 知 阿 部 正 美 尾 形 幸 男 坂 本 孝 夫 中 島 茂 星 香 里 結 城 勝 夫 安 藤 喜 勝 片 平 俊 夫 佐 久 間 光 弘 新 井 田 宣 典 星 本 文 米 沢 修 志 五十嵐 義 菅 野 村 日 喜 櫻 井 傳 朋 一 鈴 鈴 木 千 裕 堀 田 川 哲 満 堀 田 川 哲 満 堀 田 川 哲 満 大 伊 藤 隆 義 木 村 喜 八 郎 一 誠 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 遠 沼 秀 雄 小 松 信 之 郎 佐 藤 弘 昌 志 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 鶴 藤 均 小 山 太 郎 佐 藤 弘 昌 志 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 太 田 豊 秋 小 山 太 郎 佐 藤 弘 昌 志 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博 高 倉 好 博	(令和5年1月31日現在) (敬称略)	※他に匿名希望3名
--	---------------------	-----------

### 賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

### 賛助会費(年会費)

- 個人賛助会員  
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
  - 法人・団体賛助会員  
1口 10,000円(1口以上何口でも可)  
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
- 詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。  
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

### 問合せ

〒960-8043 福島市中町8番2号  
福島県自治会館6階  
公益財団法人 福島県スポーツ協会  
電話 024(521)7896  
FAX 024(521)7971  
E-mail  
[info@sports-fukushima.or.jp](mailto:info@sports-fukushima.or.jp)



第77回国民体育大会では、4競技5種目で優勝し、その他の種目でも多数の入賞を果たすなど、福島県選手団の気迫あふれる戦いが随所に見られ、スポーツを通じて県民に勇氣と感動を届けてくれました。競技スポーツ分野では、ふくしまビルドアッププロジェクトがスタートし、新たな形での選手育成に取り組みました。生涯スポーツ分野では、2年ぶりに親子体操教室 & 指導者養成研修会を開催し、親子で遊びながら体を動かす楽しさを伝えるとともに、指導者には子どもの運動能力向上に向けた効果的な指導法を提供することができました。

本協会では、本誌をはじめホームページ等を通じて、今後も県民の皆様には様々なスポーツ情報を提供できるよう一層の努力をして参りますので、変わらぬ御理解と御協力をお願いします。

小さな掛金、大きな補償

# スポーツ安全保険<sup>®</sup>



4名以上の団体・グループで  
ご加入ください。

## 保険期間

令和5年4月1日午前0時から  
令和6年3月31日午後12時まで

## 保険内容

詳しい保険の内容は、  
ホームページなどをご覧ください。

### 加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども <sup>※</sup> (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動			
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	
		B 65歳以上	1,200円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円	
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	
子ども <sup>※</sup> (中学生以下)	ワイドコース 個人活動補償型	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
大人 (高校生以上)		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。  
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。

## スポあんネット

パソコン・スマホで  
だれでも、かんたん  
便利に使いやすい!



インターネット  
で簡単お手続き

## 公益財団法人 スポーツ安全協会



スポーツ安全保険 検索

### LINE 公式アカウント



友だち募集中!

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務室

☎ 0120-233-801  
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和5年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保